

# 羽黒庁舎・羽黒地域の状況

## 《羽黒庁舎建設検討会議資料》

羽黒庁舎総務企画課

平成25年2月

# 目次

1. 調査の目的と調査内容	・・・2
2. 総合計画・行革大綱の位置付け	・・・5
3. 羽黒庁舎・公共施設の現状	・・・8
4. 現庁舎の施設利用状況	・・・22
5. 窓口利用の状況	・・・29
6. 施設の状況	・・・33
7. 人口、集落等の状況	・・・63
8. 観光・農業の状況	・・・78
9. 防災の状況	・・・87

# 1. 調査の目的と調査内容

## ○調査の目的

老朽化に伴う羽黒庁舎の建設検討にあたり、今後の羽黒地域の個性豊かな地域づくりと活性化のため、現庁舎の現状をはじめ、庁舎周辺に位置する公共施設・公共用地の利用実態、羽黒地域の状況などについて幅広く調査を行い、庁舎のあり方、求められる機能について多角的に検討をするための基礎資料を作成する。

# ○庁舎建設のための主な調査内容

- 総合計画、行革大綱の位置付け
- 庁舎、公共施設の利用実態と動向
- 人口、高齢化率等の動態
- 農業と観光の町としての産業動向
- 消防・防災の現状と動向
- ▽他地域における庁舎建設の状況（別冊）

## 2. 総合計画・行革大綱の 位置付け

# ○総合計画の位置付け（地域振興の方向性）

## ○鶴岡市総合計画（平成21年3月）

### 《地域振興の方針》

市町村合併の理念である「多様性の発揮」を実現するため、引き続きそれぞれの地域の持つ特性を最大限に生かした個性豊かな地域づくりを進めます。

### 《羽黒地域の方向性》

産業の振興や都市農村交流の促進を図り、地域住民自らの地域資源の発掘や地域内の連携を通して、農業や歴史文化の資源を生かしていくとともに、地域を支える多様な組織やネットワークを通して、各地域の主体的な取組みを支援し、地域の活性化や再生に取り組みます。

# ○行革大綱の方向性

○鶴岡市行政財政改革大綱(平成23年7月)

《本所・庁舎間、部局間の機能分担の見直し》

効果的で効率的な行政運営の観点から、本所の部課及び本所と地域庁舎との役割・機能の見直しや相互の連携強化を進めるとともに、地域の実情、業務内容と見合う合理的な組織に再編する。

○大綱に基づく実施計画[第二次](平成24年4月)

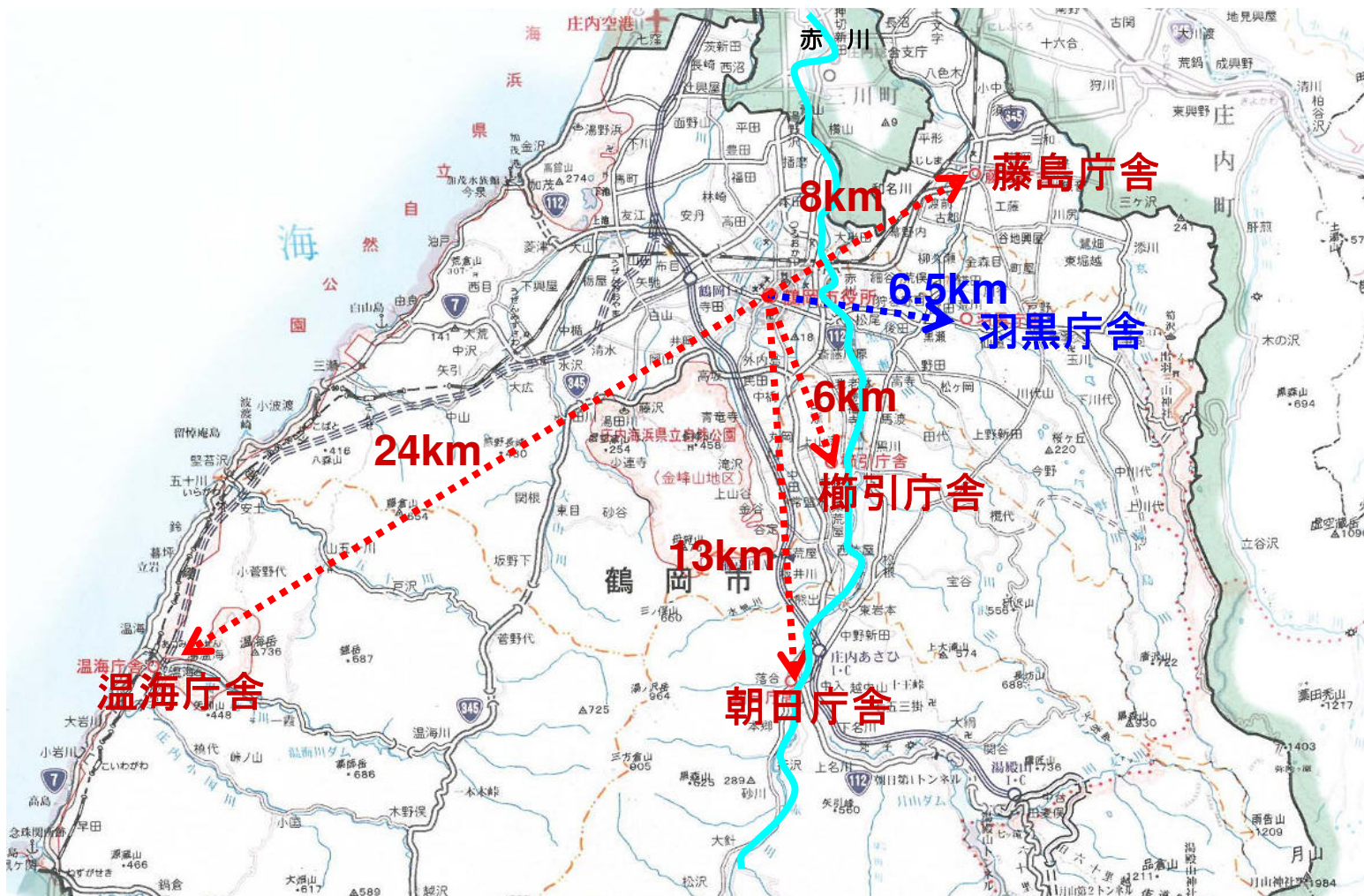
《地域の活性化に向けた地域庁舎機能の見直し》

地域庁舎については、一元化により効果的・効率的な運営が可能な部門については集約を進めつつ、市民の利便性向上のためのワンストップサービス(総合窓口)の充実、コミュニティへの支援や地域振興ビジョンの推進、産業振興など地域の活性化に向けた体制を整備する。また、庁舎建物の余裕スペースについて、市民の利便性等の向上につながるよう、その活用策も合わせて検討することとし、以下により組織及び機能の見直しに取り組む。



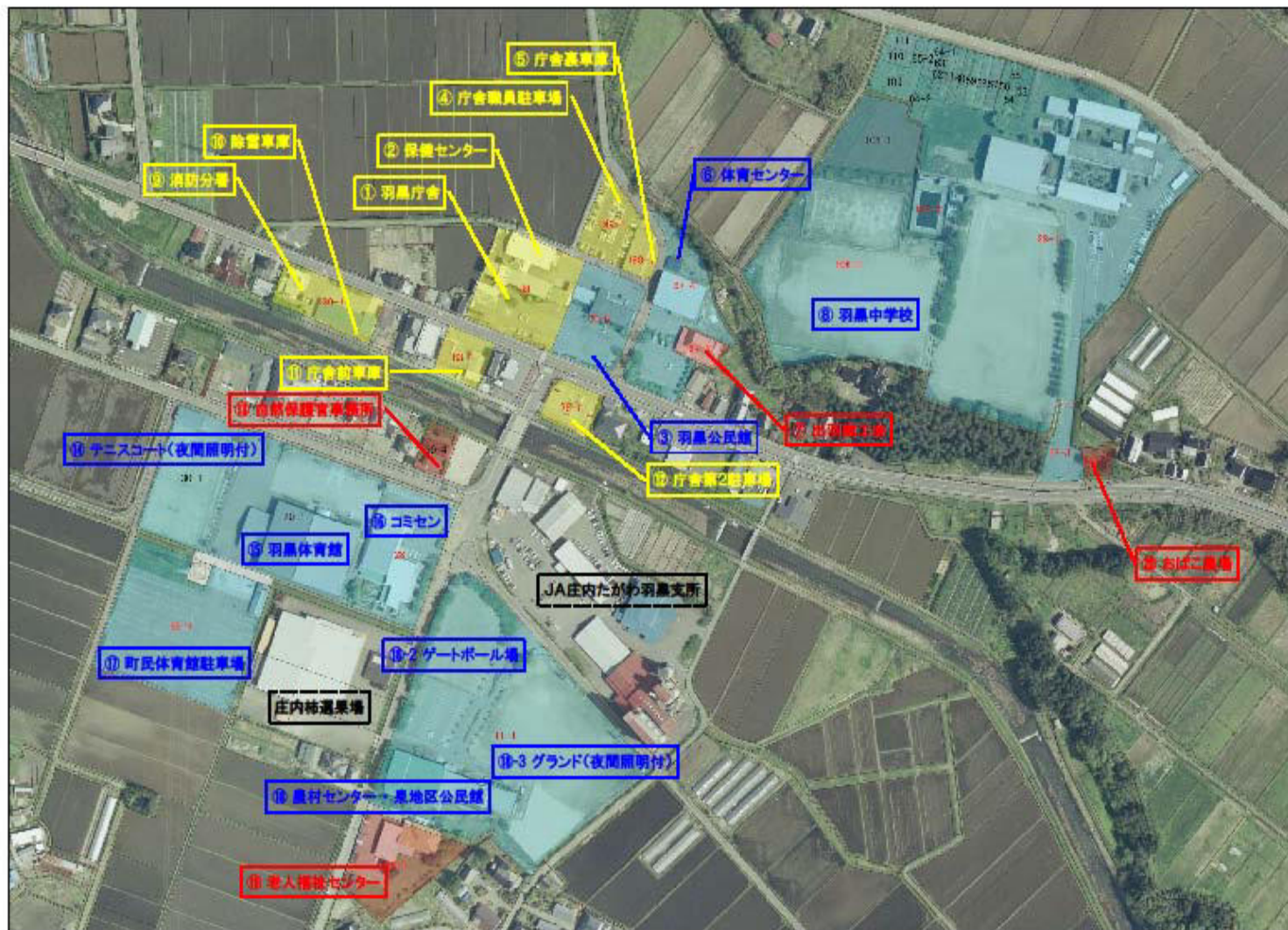
# 3. 羽黒庁舎・公共施設の現状

# ○現庁舎の位置



⇒羽黒庁舎は本所から東に直線で6.5kmの距離に位置している。

# ○庁舎付近の公共用地の利用状況①



青エリア  
教育関係用地

黄エリア  
庁舎等用地

赤エリア  
貸借用地

# ○庁舎付近の公共用地の利用状況②

番号	施設	地番	敷地面積(㎡)	建物	建築年月日	述床面積(㎡)	棟	備考	
1	羽黒庁舎	89	4,326.54	羽黒庁舎(本棟)	S35	1,338.00	1		
				羽黒庁舎(研修棟)	S35	328.00	1		
				羽黒庁舎(別棟)	S55	357.00	1		
2	保健センター			保健センター	H11.9	497.69	1		
3	羽黒公民館	70-6	3,073.06	羽黒公民館	S41	975.56	1		
4	庁舎職員駐車場	199-1	1,657.93						
5	庁舎裏車庫	198-1	648.79	庁舎裏車庫	S63.3	454.69	1		
6	体育センター	67-4	4,230.15	体育センター	S56.1	764.14	1		
7	出羽商工会	67-2	645.45	出羽商工会	S61.127	435.33	1	無償貸与	
8	羽黒中学校	17-3他	53,705.69	羽黒中学校	H24	7,111.00	1		
9	消防分署	130-1	2,259.78	消防分署	S49	235.10	1		
10	除雪車庫			除雪車庫	S63.3.10	487.84	2		
11	庁舎前車庫	83-1	1,133.86	庁舎前車庫	S51	496.30	4		
12	庁舎第二駐車場	76-1	1,066.64						
13	自然保護館事務所	39-4	745.71	自然保護館事務所	H元	218.00	1	有償貸与	
14	テニスコート	30-1	4,351.00						
15	羽黒体育館	29-1	9,260.10	羽黒体育館	H2.9	3,116.28	1		
16	コミセン	28	4,732.99	コミセン	S56.12	1,772.46	1		
17	町民体育館駐車場	82-2	8,943.00						
18	農村センター・泉地区公民館	11-1	21,590.14	農村センター・泉地区公民館	S51	2,091.80	1		
18-2	ゲートボール場								
18-3	グラウンド								
19	老人福祉センター	56-1	3,258.29	老人福祉センター	S55.11	717.32	1	無償貸与	
20	おばこ農場	143-1	428.06					有償貸与	

# ○現庁舎等の状況①(全景)



# ○現庁舎等の状況②（保健センター）



# ○現庁舎等の状況③(羽黒公民館)



# ○現庁舎等の状況④(車庫)





# ○現庁舎等の状況⑤(駐車場)



4 庁舎職員駐車場(上)



12 庁舎第2駐車場(下)

# ○現庁舎等の状況⑥(消防羽黒分署)



# ○現庁舎等の状況⑦(体育施設1)



15 羽黒体育館(左上)

17 町民体育館駐車場(左下)



6 体育センター



# ○現庁舎等の状況⑧(体育施設2)



14 テニスコート(左上)

18-2 ゲートボール場(左下)

18-3 グラウンド(左下)



# ○現庁舎等の状況⑨(コミセン・農村C)



16 コミセン(左)



18 農村センター・泉地区公民館

同センター体育館

# ○現庁舎等の状況⑩(その他施設)



7 出羽商工会(上)

19 老人福祉センター(下)



# 4. 現庁舎の施設利用状況

# ○現庁舎の問題点

- 昭和35年に建設された羽黒庁舎は、平成17年度の調査で、桁行方向及び張間方向ともに「地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、または崩壊する危険性が高い」と判定され、補強の必要があるとの診断が出ている。
  - 利用する市民及び職員の安全を確保するとともに有事の際に備えて、速やかに羽黒庁舎の耐震補強工事を行い、安全性を確保することが必要であるが、補強工事を行っても、本体が50年以上経過し、他の修繕が多くなると思われる。
  - また、現在使用していない部屋等が多くあり、補強する場合工事費が割高になる
- ⇒今後の庁舎機能と組織機構にあった新たな庁舎の建設を行う必要がある。



# ○現庁舎の活用実態について

区分	階数	施設	室名	面積(㎡)	職員数 定員	
事務室 584㎡ (67人)	1F	本棟	市民福祉課	100	7人	
			産業課	82	12人	
		保健センター	市民福祉課	100	12人	
	2F	本棟	東部建設事務室	72.5	11人	
			総務企画課	76.6	14人	
			支所長室	23.6	1人	
	3F	本棟	育英会室	47.3	1人	
1F	いでは文化記念館	観光商工室	82	9人		
会議室 1,207.3㎡	1F	保健センター	本棟	営農相談室	39	10人
			別棟	健康教育室	49	18人
				健康相談室1	10	4人
				健康相談室2	20	6人
				集団検診室	70	40人
	2F	本棟	応接室	82.5	11人	
			研修棟	職員研修室(和室)	46	15人
	3F	本棟	羽黒の間(和室)	41	10人	
			302会議室	37.5	12人	
			集会室(元議場)	164	40人	
別棟	301会議室	64.3	20人			

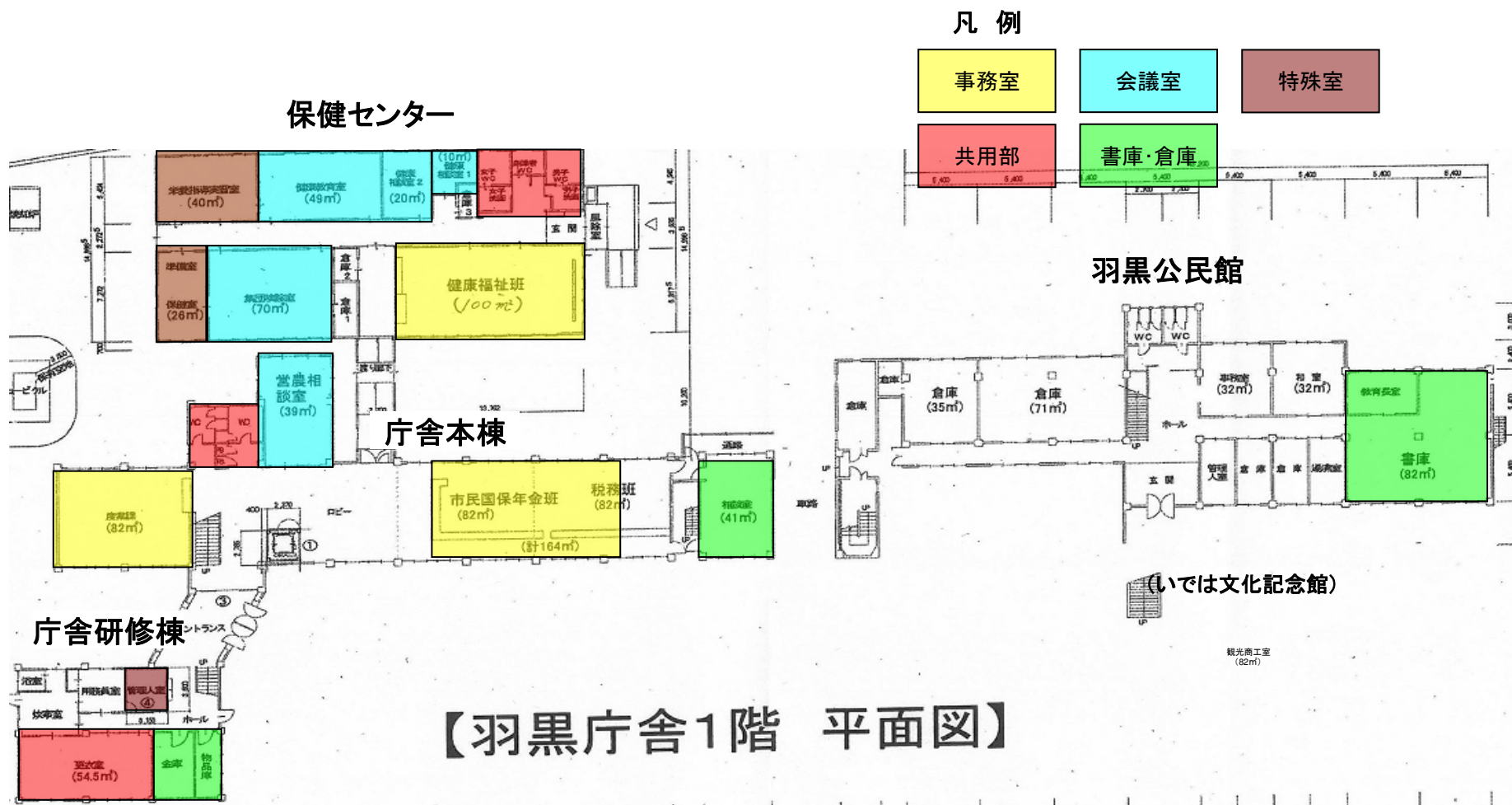
区分	階数	施設	室名	面積(㎡)	職員数 定員
特殊室 97.8㎡	1F	保健センター	保健室	26	
			栄養指導実習室	40	
		別棟	管理人室	15.2	
共用部 140.5㎡	2F	本棟	防災無線室	16.6	
			1F	本棟	トイレ
	1F	保健センター	トイレ	26	
			研修棟	更衣室	54.5
		2F	本棟	トイレ	30
書庫・倉庫 282.8㎡	1F	別棟	旧相談室	41	
			研修棟	金庫・物品庫	27.3
		羽黒公民館	書庫	97	
	2F	本棟	旧建設環境課	63	
研修棟			倉庫	54.5	

面積合計	1,728.4 ㎡
------	-----------

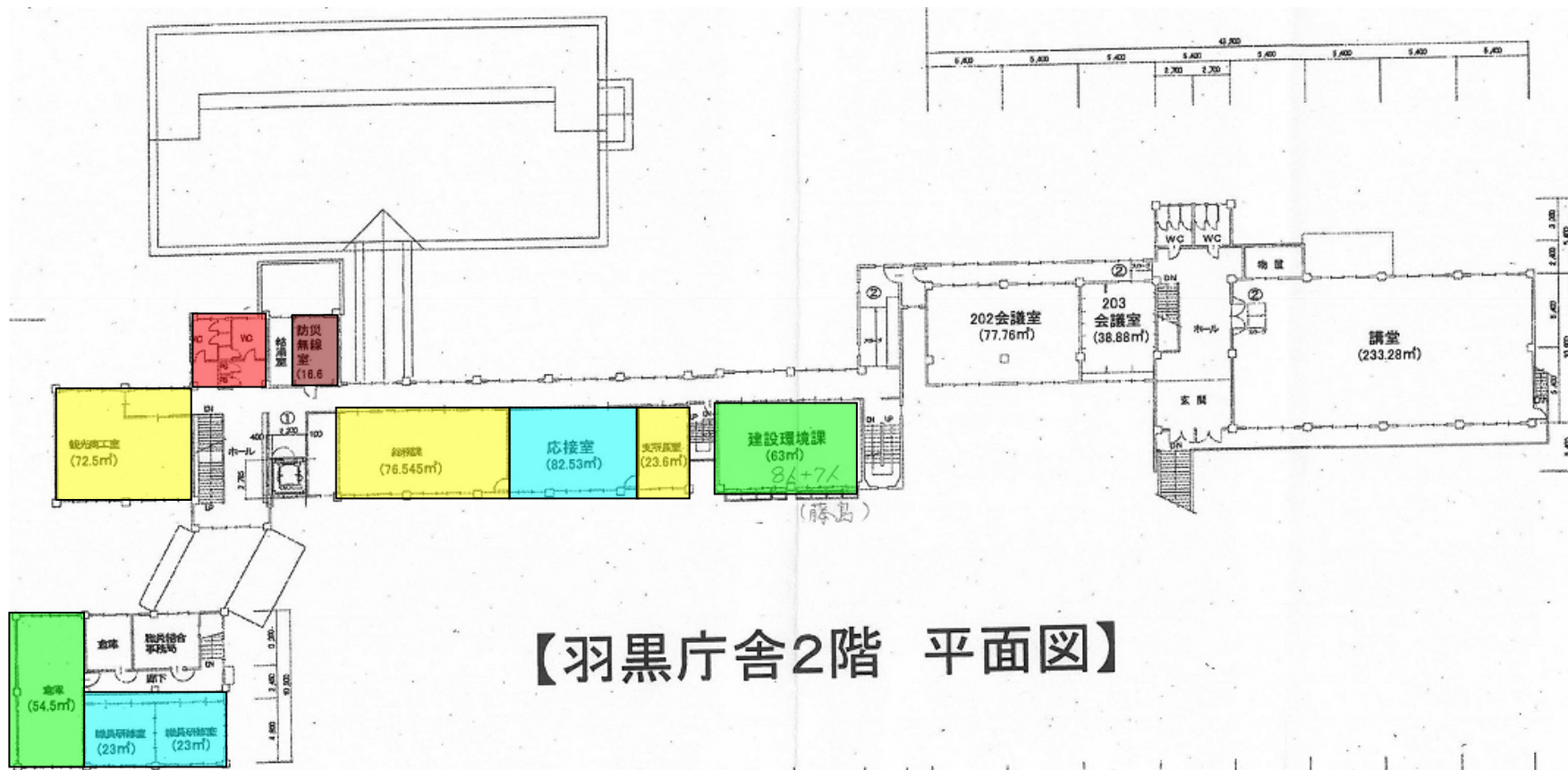
※職員数は臨時、嘱託等を含む現有人員数

※共用部に廊下、ホール等含まず

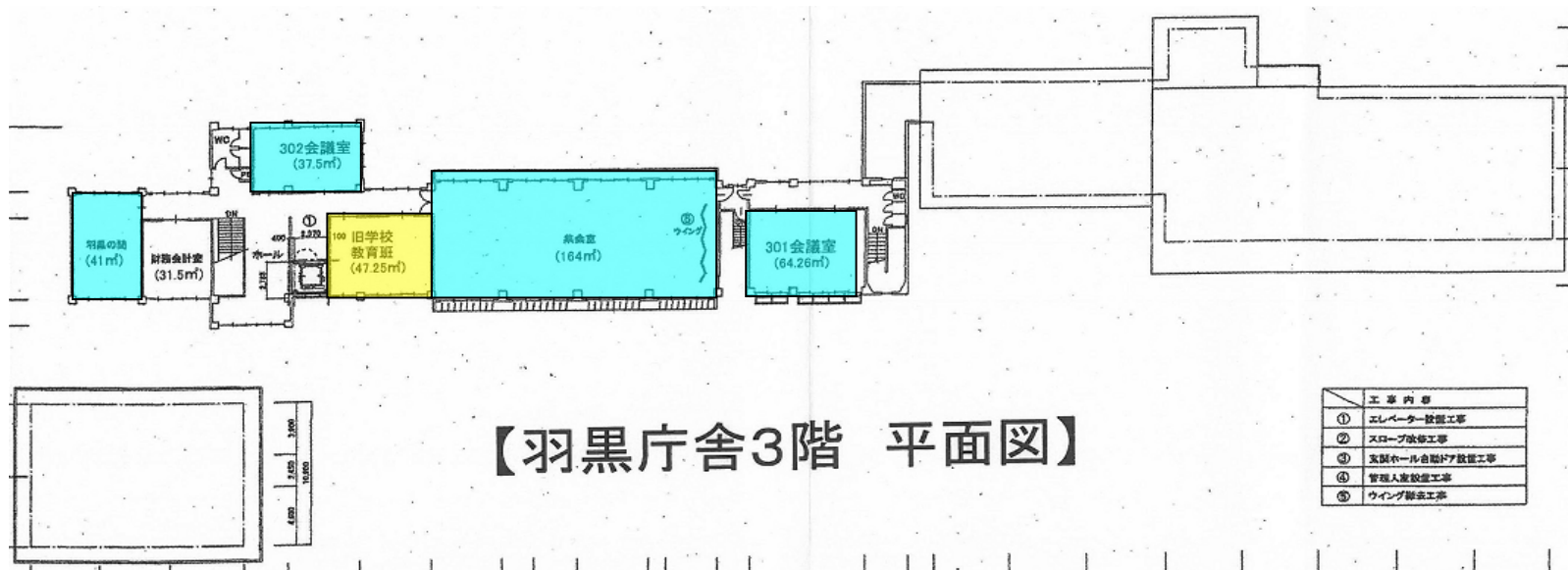
# ○現庁舎の利用状況①(1F)



# ○現庁舎の利用状況②(2F)



# ○現庁舎の利用状況③(3F)



# ○庁舎会議室の利用状況

施設	階数	室名	面積(m <sup>2</sup> )	定員	利用率			主な利用
					22年度	23年度	24年度	
本棟	1F	営農相談室	39	10人	—	—	—	個別相談・打ち合わせスペース
	2F	応接室(市長室)	82.5	11人	—	—	—	来客応接対応・庁舎課長会議
	3F	羽黒の間(和室)	41	10人	13.2%	6.3%	13.7%	広報折込・事務用品保管・控え室・職員休憩室
		302会議室	37.5	12人	16.3%	21.5%	※46.1%	庁内会議・調査関係事務対応 ※24年度は選挙対応による
		集会室(元議場)	164	40人	22.2%	21.9%	23.9%	地域審議会・消防団会議・各種総会・監査対応
別棟	3F	301会議室	64.3	20人	13.8%	15.8%	11.1%	外部団体会議・完成検査
研修棟	2F	職員研修室(和室)	46	15人	11.8%	13.3%	9.8%	市民福祉課ヨガ教室
保健センター	1F	健康教育室	49	18人	18.6%	※26.9%	18.9%	各種検診 ※23年度は震災生活支援物資保管による
		健康相談室1	10	4人	—	—	—	個別相談・打ち合わせスペース
		健康相談室2	20	6人	—	—	—	個別相談・打ち合わせスペース
		集団検診室	70	40人	11.0%	5.7%	11.5%	各種検診・選挙投票所

○利用率はオンライン予約について平日を午前、午後、就業後の3区分に分け利用のあった時間をあてはめて計算

○平成24年度は12月までの9ヶ月間の利用実績で計算

# 5. 窓口利用の状況

# ○窓口利用状況①(交付・証明手数料)

(円)

	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	19→23
鶴岡	52,861,610	52,742,780	51,204,850	49,002,480	48,198,270	8.8%減
藤島	7,010,300	6,451,830	5,985,040	5,715,960	5,314,590	24.2%減
羽黒	4,589,670	4,714,100	4,101,420	3,822,860	3,895,400	15.1%減
櫛引	4,925,210	4,671,450	4,160,960	3,940,900	3,900,450	20.8%減
朝日	2,774,860	2,487,860	2,588,940	2,110,890	1,866,360	32.7%減
温海	4,799,310	5,383,100	4,375,350	4,117,050	4,046,470	15.7%減

※印鑑証明・印鑑登録・住民票・居住証明・台帳閲覧・戸籍附票写し・戸籍謄本・戸籍抄本・除改製戸籍謄本・除改製戸籍抄本・戸籍の証明・除籍の証明・身分証明・受理証明・納税証明・税務証明・船員法事務・その他証明・(公簿・公図等閲覧)・臨時運行・住基カード

⇒どの庁舎も取扱いが経年で下落している。

# ○窓口利用状況②(申告相談)

(件)

	年	21年	22年	23年	24年
鶴岡	件数	3,425	3,718	3,233	4,589
	人数	—	2,581	2,043	1,991
	一人当たりの処理数	—	11.3	9.4	15.4
藤島	件数	1,659	1,624	1,539	1,454
	人数	—	1,308	1,241	1,119
	一人当たりの処理数	—	9.1	17.2	10.7
羽黒	件数	1,565	1,338	1,292	1,240
	人数	—	—	912	905
	一人当たりの処理数	—	10.0	8.3	9.5
櫛引	件数	1,815	1,595	1,484	1,363
	人数	—	—	1,051	930
	一人当たりの処理数	—	13.0	8.8	6.3
朝日	件数	1,173	1,077	1,016	1,014
	人数	—	786	978	964
	一人当たりの処理数	—	14.6	14.1	14.2
温海	件数	2,222	2,063	1,827	1,775
	人数	—	—	1,261	1,163
	一人当たりの処理数	—	11.0	12.1	11.9

⇒庁舎における相談件数は減少。本庁での件数増加は郵送、税務署受付の増による。<sup>31</sup>



# ○窓口利用件数③(H24窓口納付)

【参考】

	羽黒分室		藤島分室		櫛引分室		朝日分室		温海分室		羽黒分室(前年)	
	納付書枚数	金額	納付書枚数	金額	納付書枚数	金額	納付書枚数	金額	納付書枚数	金額	納付書枚数	金額
4月	341	4,279,921	316	4,561,409	385	4,808,079	172	1,904,321		1,115,024	420	5,726,867
5月	562	5,108,529	469	4,840,001	734	6,373,122	148	1,749,420		1,237,622	737	8,746,348
6月	609	5,411,774	463	4,491,221	615	5,353,522	200	2,669,808		1,902,057	677	5,964,708
7月	557	6,131,329	493	6,038,471	567	5,778,716	135	1,753,730		2,661,787	596	6,537,578
8月	681	8,185,958	452	6,717,005	620	7,729,341	212	2,260,030		3,001,076	833	10,704,386
9月	430	4,857,388	338	4,239,669	345	3,388,517	118	1,018,966		1,138,098	472	6,847,113
10月											536	5,912,747
11月											539	7,168,377
12月											658	8,051,140
1月											510	6,210,526
2月											627	8,278,240
3月											454	8,580,449
計	3,180	33,974,899	2,531	30,887,776	3,266	33,431,297	985	11,356,275		11,055,664	7,059	88,728,479

⇒税務事務室が藤島に移行しても窓口納付の額が大きい。

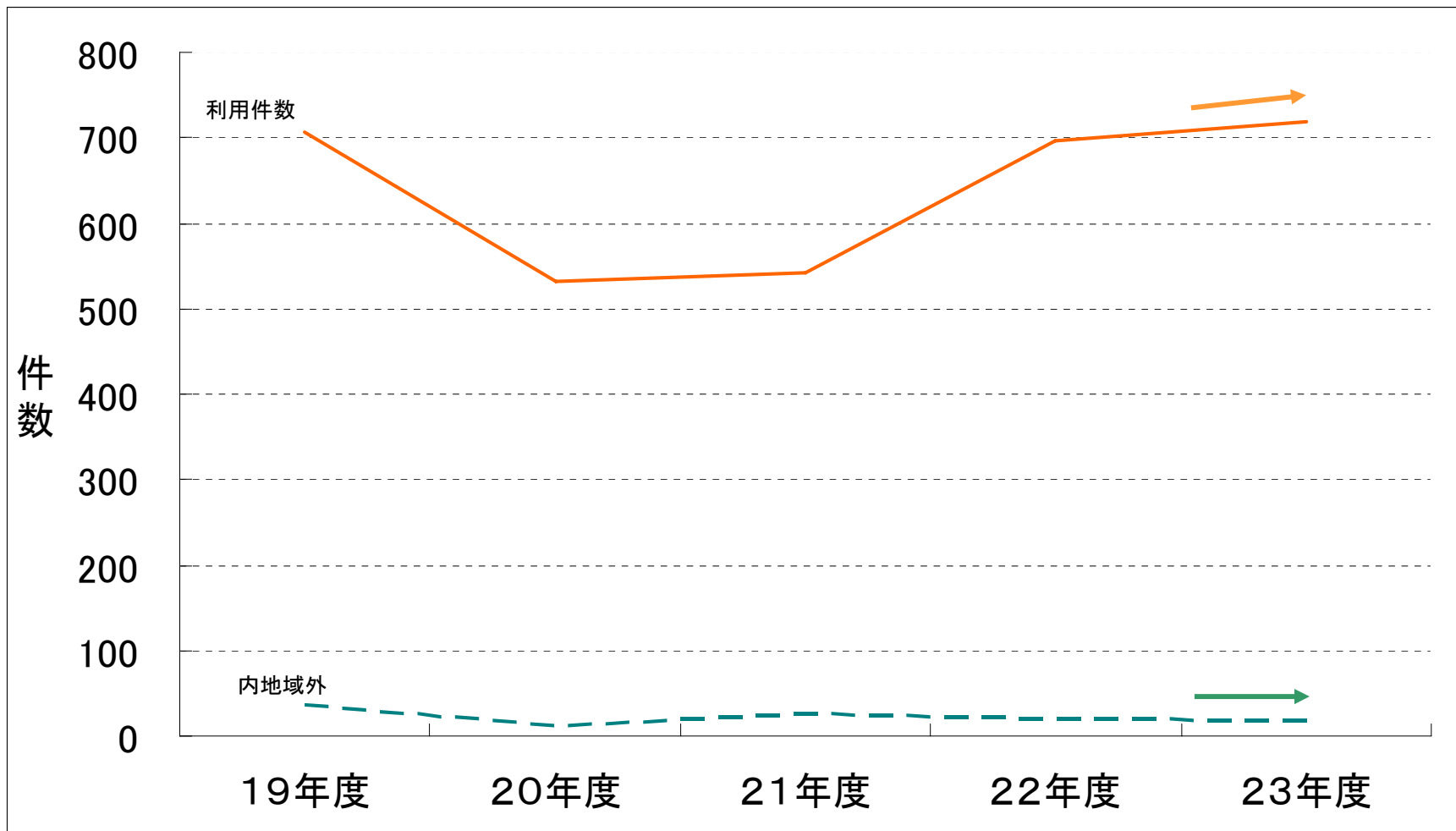
# 6. 庁舎周辺施設の利用状況

# ○羽黒コミセンの利用状況①

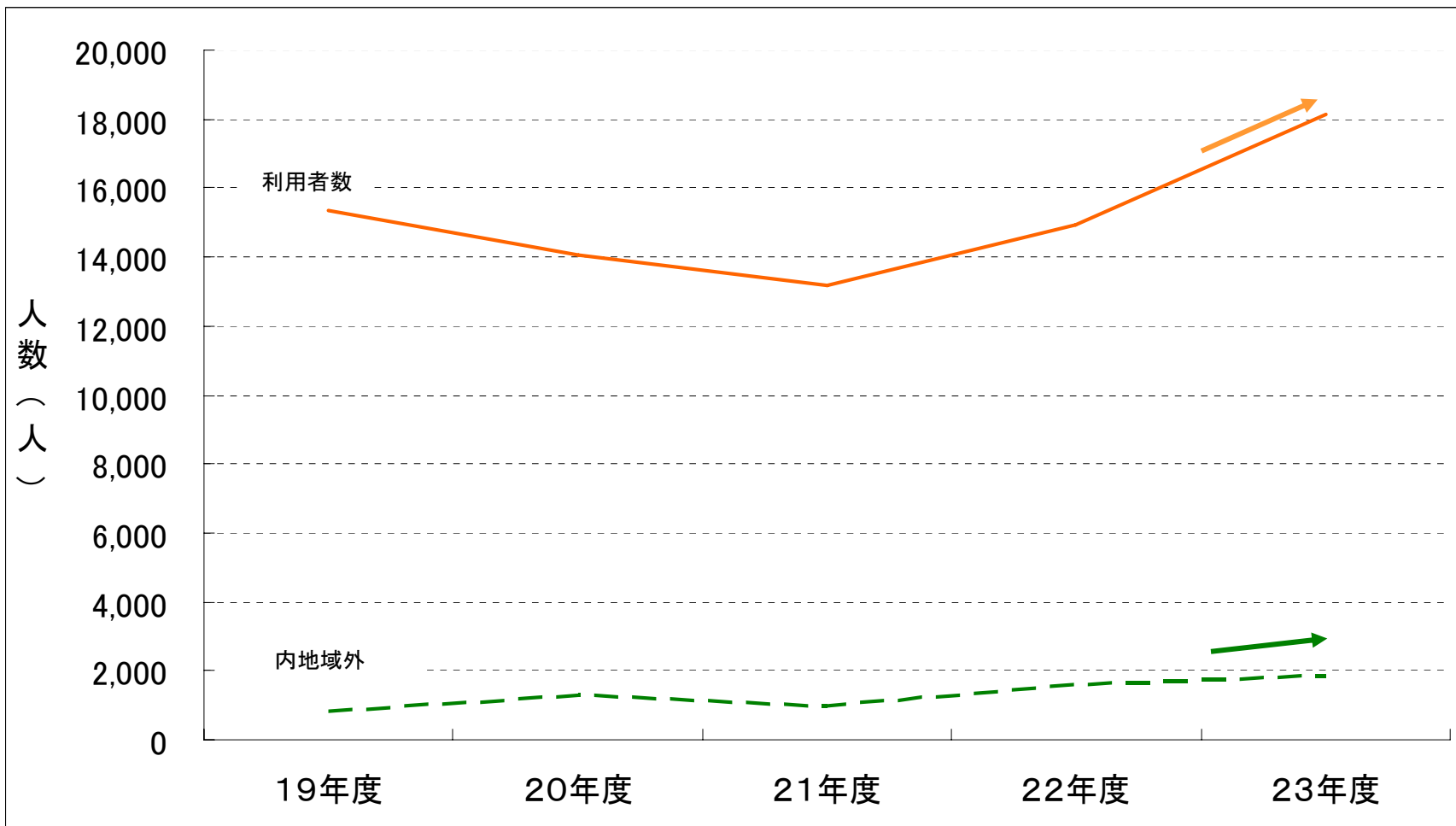
	羽黒コミュニティセンター			
	利用数		内地域外	
年度	件数	人数	件数	人数
19年度	707	15,366	36	848
20年度	532	14,055	13	1,270
21年度	543	13,176	26	967
22年度	697	14,961	21	1,607
23年度	719	<u>18,142</u>	19	<u>1,862</u>

⇒近年、コミセンの利用が上昇傾向にある。また、有料だが、サークル等の利用で全体の1割程度が羽黒地域外の利用になっている。

# ○羽黒コミセン利用状況②(件数)



# ○羽黒コミセン利用状況③(人数)



# ○羽黒コミセン利用状況④(日数)

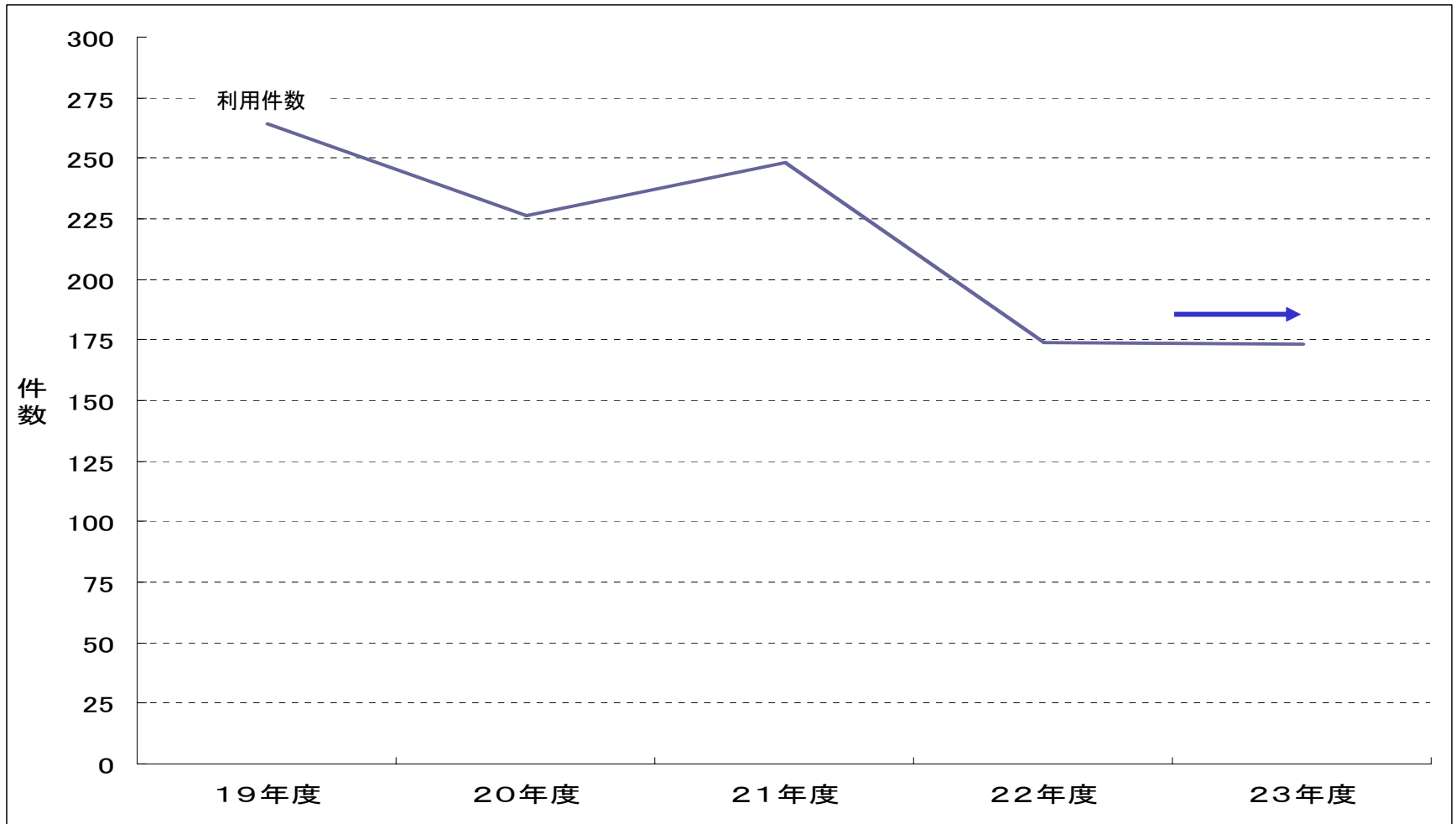
年度 月	19年度		20年度		21年度		22年度		23年度	
	集会室	その他の部屋	集会室	その他の部屋	集会室	その他の部屋	集会室	その他の部屋	集会室	その他の部屋
4月	15	21	18	19	22	20	19	23	13	27
5月	17	22	19	16	16	18	17	19	21	22
6月	21	20	24	20	22	24	21	23	26	19
7月	17	23	21	21	21	24	18	26	20	19
8月	17	20	19	21	17	18	22	20	18	20
9月	17	25	16	20	15	20	17	24	17	19
10月	19	27	23	20	15	24	22	26	24	15
11月	22	24	23	21	19	23	22	25	19	23
12月	16	18	10	19	12	15	12	23	21	22
1月	13	22	14	23	17	18	18	21	16	26
2月	24	23	16	21	17	17	17	21	20	19
3月	22	18	20	18	18	22	13	18	19	18
合計	220	263	223	239	211	243	218	269	234	249
利用可能 日数	360	360	359	359	359	359	359	359	360	360
利用率	61.1%	73.1%	62.1%	66.6%	58.8%	67.7%	60.7%	74.9%	65.0%	69.2%

# ○羽黒公民館の利用状況①

	羽黒公民館	
	利用数	
年度	件数	人数
19年度	264	5,070
20年度	226	4,004
21年度	248	4,416
22年度	174	2,646
23年度	173	3,227

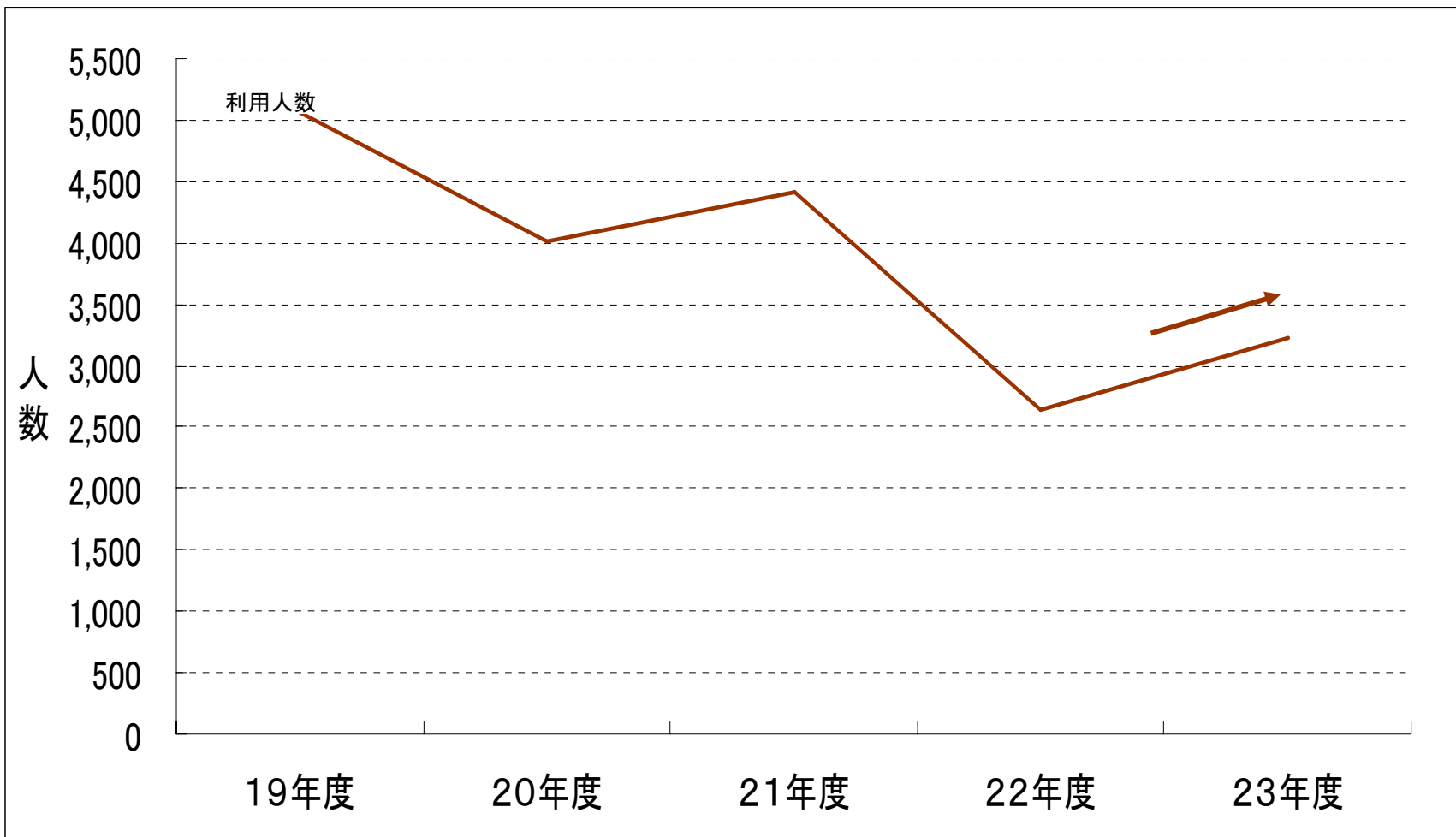
⇒主な利用は、羽黒太鼓の練習場、検診、夏休み等の学童利用となっている。 38

# ○羽黒公民館の利用状況②(件数)





# ○羽黒公民館の利用状況③(人数)



# ○羽黒公民館利用状況④(日数)

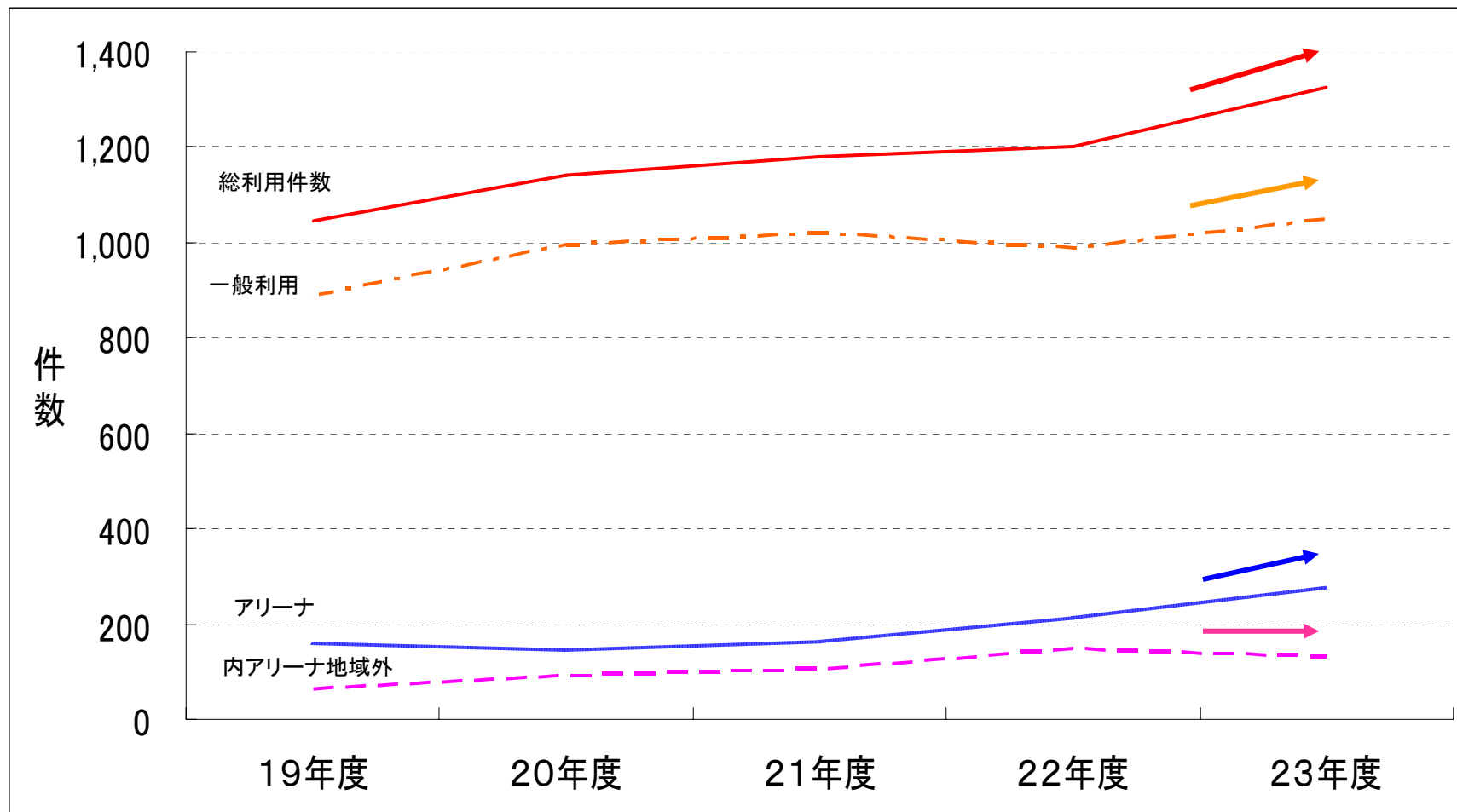
年度 月	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
4月	14	17	19	11	4
5月	15	17	16	14	15
6月	21	16	16	17	14
7月	15	21	17	19	17
8月	12	16	17	11	12
9月	9	13	9	16	13
10月	13	10	16	13	20
11月	19	19	19	10	19
12月	14	10	16	10	11
1月	9	8	7	5	6
2月	23	11	12	8	5
3月	25	10	11	8	9
合計	189	168	175	142	145
利用可能日数	360	359	359	359	360
利用率	52.5%	46.8%	48.7%	39.6%	40.3%

# ○羽黒体育館の利用状況①

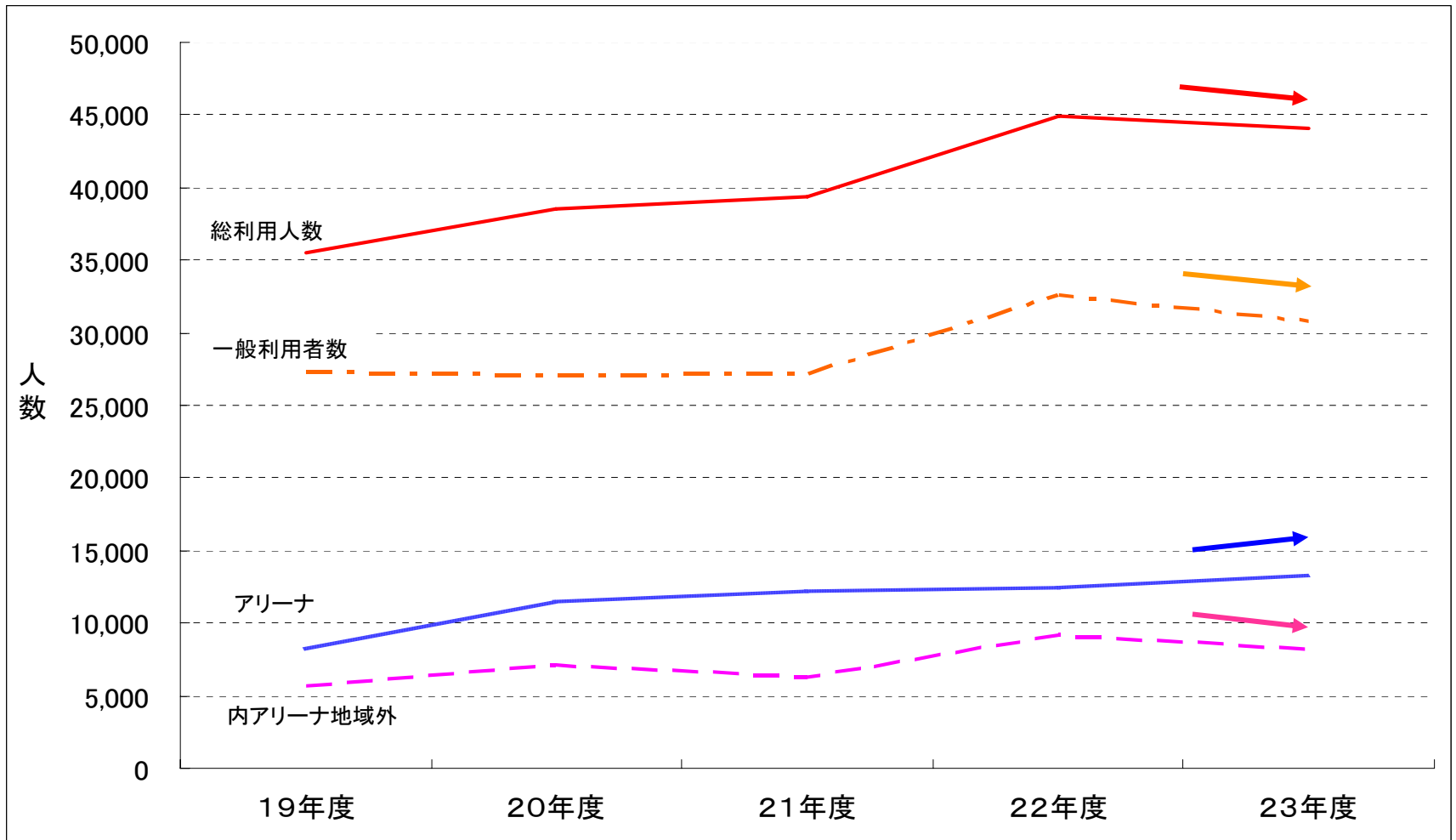
	羽黒体育館							
	総利用数		一般利用		アリーナ		アリーナの内地域外	
年度	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
19年度	1,047	35,537	159	8,208	888	<u>27,329</u>	65	<u>5,717</u>
20年度	1,142	38,583	147	11,503	995	27,080	93	7,096
21年度	1,182	39,339	162	12,170	1,020	27,169	105	6,280
22年度	1,202	44,978	212	12,396	990	32,582	148	9,125
23年度	1,324	44,078	276	13,325	1,048	<u>30,753</u>	131	<u>8,248</u>

⇒体育館利用は連続して伸びている。また、アリーナの地域外利用者数も伸びており、約3割程度が羽黒地域外となっている。

# ○羽黒体育館の利用状況②(件数)



# ○羽黒体育館の利用状況③(人数)

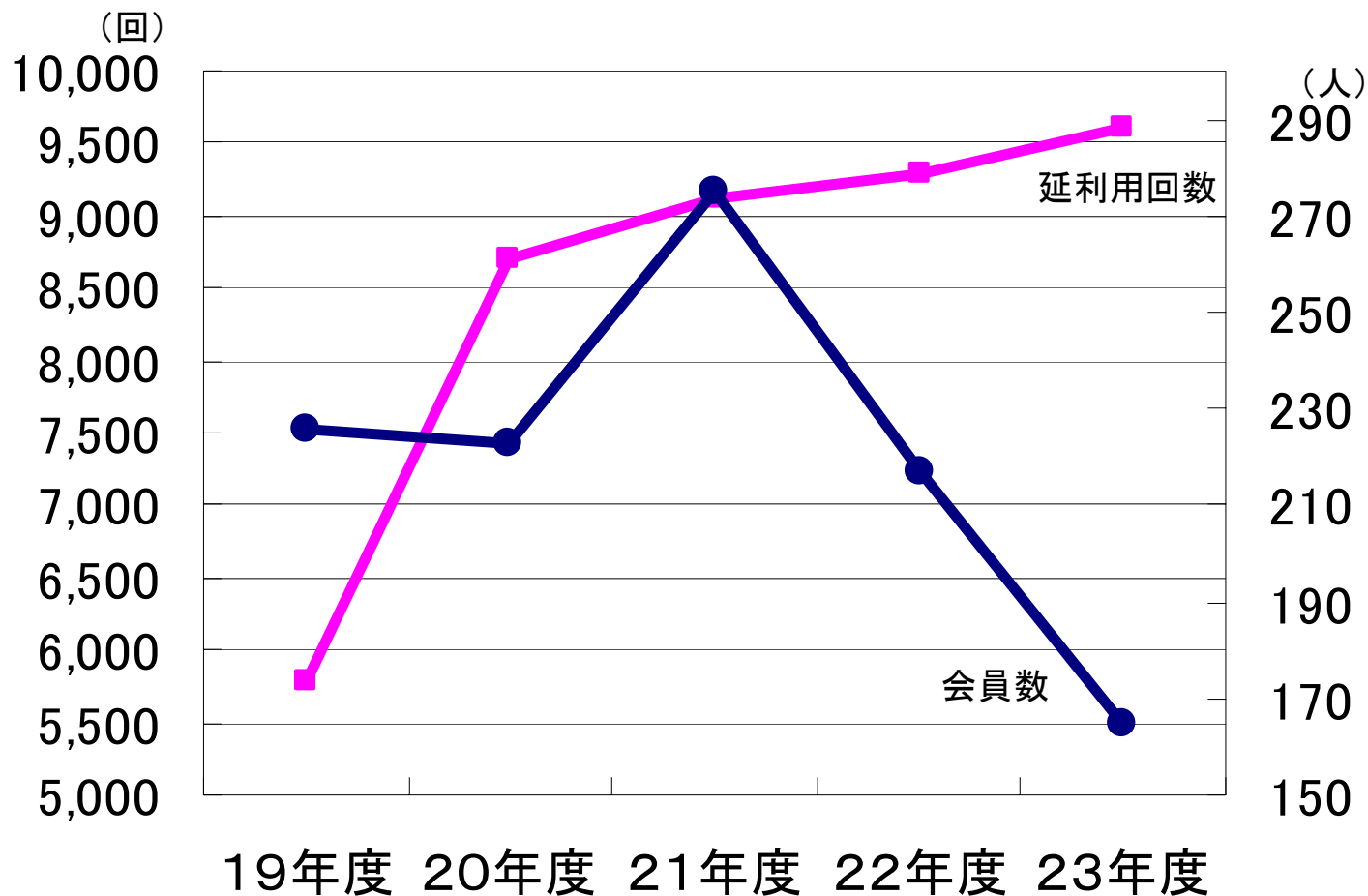


# ○羽黒体育館の利用状況④(トレーニングルーム)

年度	会員数(内地域外)	延利用回数
19年度	<u>226( 82)</u>	<u>5,794</u>
20年度	223( 90)	8,713
21年度	275(114)	9,127
22年度	217( 65)	9,287
23年度	<u>165( 53)</u>	<u>9,611</u>

⇒トレーニング会員は市内の施設(藤島、羽黒、小真木、にこふる)で申込、利用が可能。羽黒体育館の会員数は減っているものの延べ利用回数は大きく伸びている。

# ○羽黒体育館の利用状況④ (トレーニングルーム)



⇒羽黒体育館の会員数は減っているものの延べ利用回数は大きく伸びている。

# ○羽黒体育館の利用状況⑤(日数)

年度 月	19年度		20年度		21年度		22年度		23年度	
施設	アリーナ	トレーニング グループ	アリーナ	トレーニング グループ	アリーナ	トレーニング グループ	アリーナ	トレーニング グループ	アリーナ	トレーニング グループ
4月	26	26	26	30	29	30	30	30	26	30
5月	26	26	27	31	31	31	30	31	28	31
6月	25	26	30	30	29	30	28	30	28	30
7月	26	26	30	31	31	31	31	31	31	31
8月	26	27	31	31	27	31	30	31	29	31
9月	26	26	29	30	28	30	29	30	30	30
10月	25	26	30	31	30	31	31	31	31	31
11月	26	26	30	30	29	30	28	30	30	30
12月	24	24	28	28	26	28	28	28	28	28
1月	24	24	28	28	28	28	28	28	31	28
2月	25	25	28	28	28	28	28	28	29	29
3月	26	26	31	31	30	31	29	31	31	31
合計	305	308	348	359	346	359	350	359	352	360
利用可能日数	308	308	359	359	359	359	359	359	360	360
利用率	99.0%	100.0%	96.9%	100.0%	96.4%	100.0%	97.5%	100.0%	97.8%	100.0%

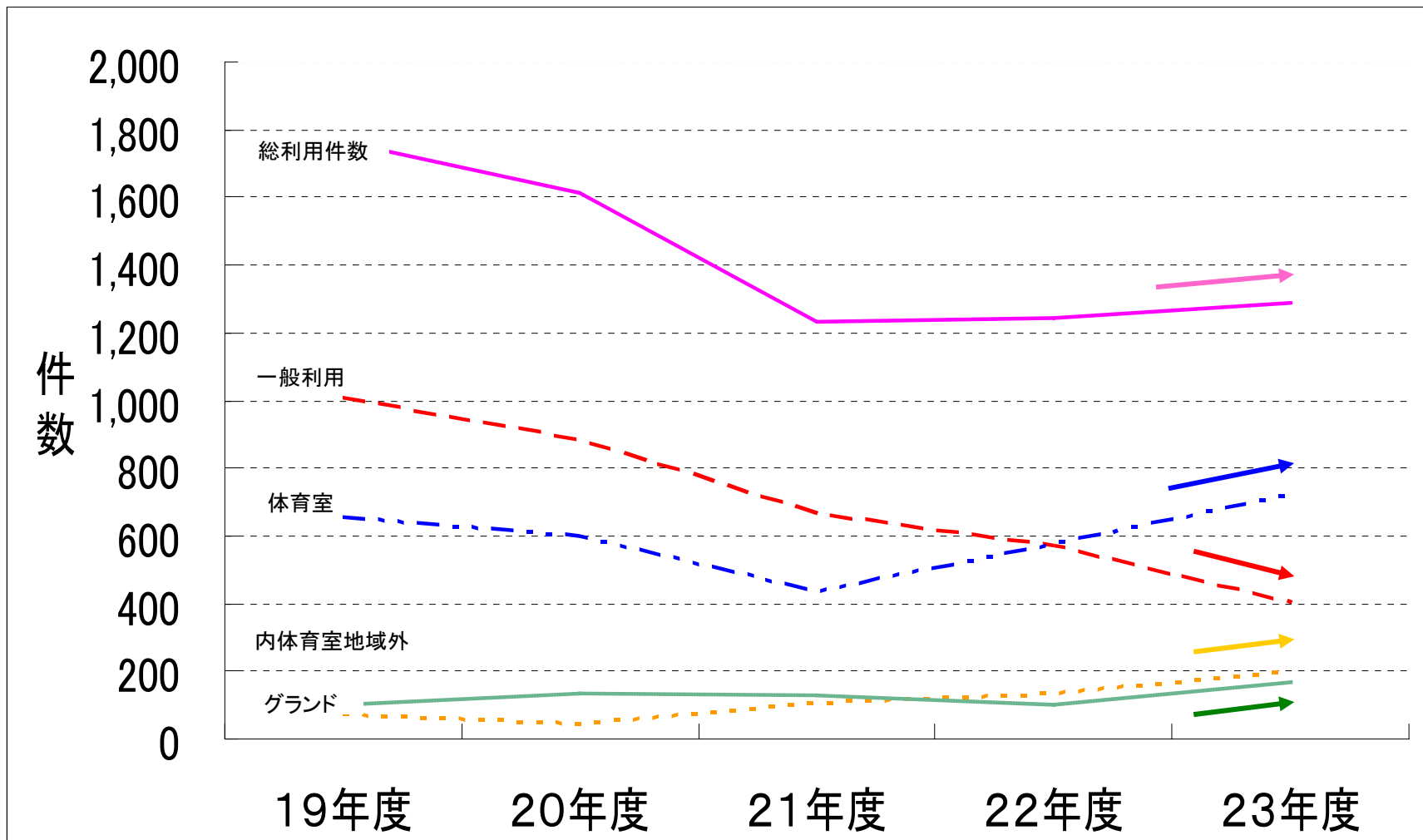


# ○泉地区公民館の利用状況①

	泉地区公民館									
	総利用数		一般利用		体育室		体育室の内地域外		グラウンド	
年度	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
19年度	1,766	34,382	<u>1010</u>	<u>17,052</u>	<u>656</u>	<u>14,849</u>	71	2,023	<u>100</u>	<u>2,481</u>
20年度	1,615	36,394	883	15,948	600	15,879	44	1,610	132	4,567
21年度	1,231	26,140	664	9,833	437	12,586	107	2,266	130	3,721
22年度	1,245	28,207	570	10,525	576	14,155	132	2,613	99	3,527
23年度	1,290	26,719	<u>404</u>	<u>4,174</u>	<u>720</u>	<u>16,558</u>	204	4,426	<u>166</u>	<u>5,987</u>

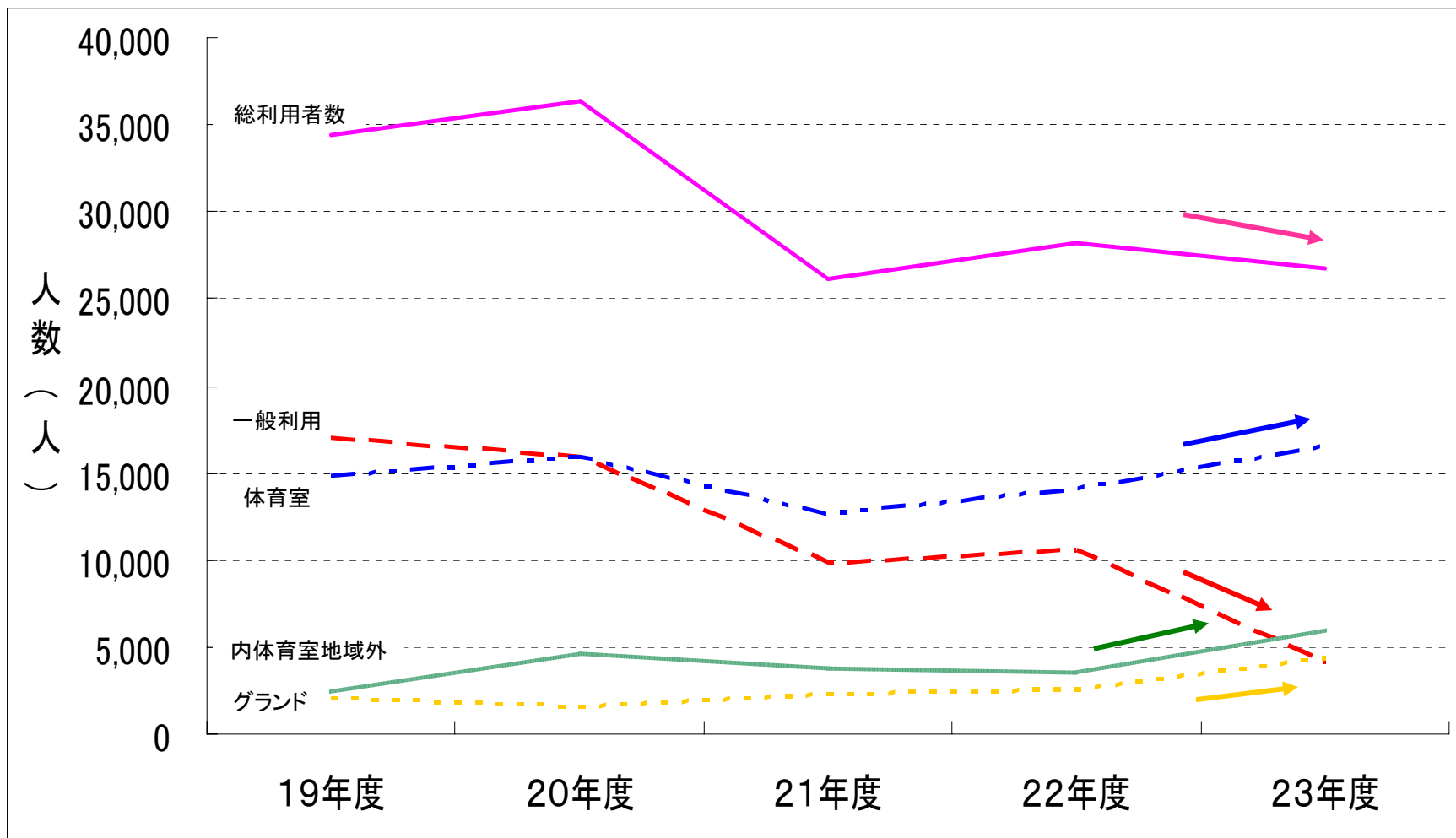
⇒一般利用が落ち込む中、体育関係施設の利用、特に羽黒地域外の利用が 48 伸びている。

# ○泉地区公民館利用状況②(件数)



⇒体育関係施設の利用、羽黒地域外の利用が伸びている。

# ○泉地区公民館利用状況③(人数)



⇒体育室の羽黒地域外利用が体育室利用を押し上げている。

# ○泉地区公民館利用状況④(日数)

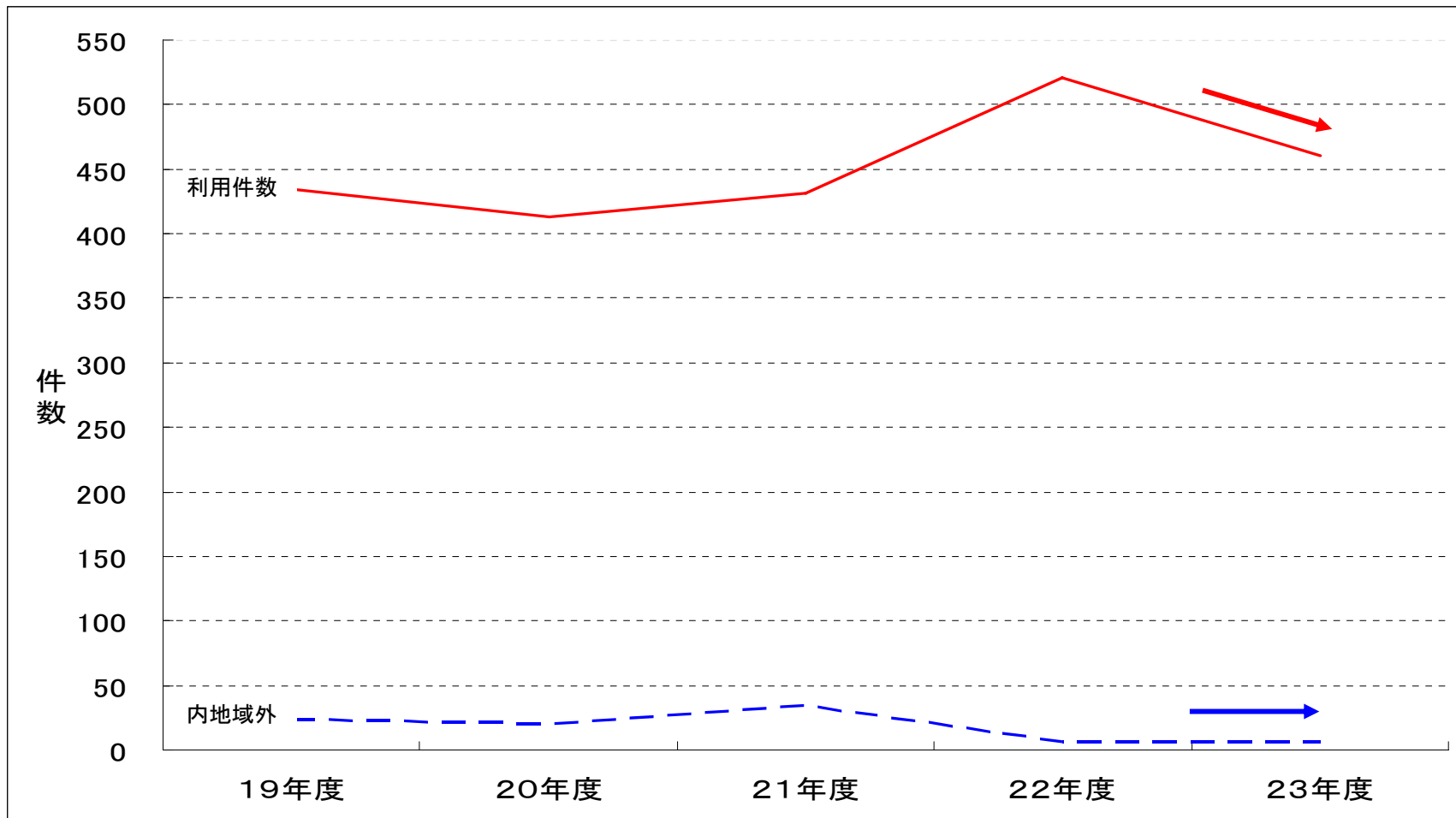
年度 月	19年度		20年度		21年度		22年度		23年度	
	体育室	その他の部屋	体育室	その他の部屋	体育室	その他の部屋	体育室	その他の部屋	体育室	その他の部屋
4月	27	26	26	27	21	2	24	26	28	3
5月	26	28	27	26	22	26	22	27	23	20
6月	25	28	20	29	22	30	24	26	27	27
7月	25	30	27	28	25	30	27	30	29	27
8月	18	25	29	27	16	24	23	27	26	23
9月	28	26	20	26	20	29	29	2	28	26
10月	23	29	26	30	23	29	1	27	29	29
11月	29	29	30	26	29	26	30	28	30	25
12月	28	26	28	25	28	22	28	25	28	27
1月	28	23	28	24	23	22	28	20	28	16
2月	29	27	28	27	23	25	28	25	29	24
3月	31	29	30	30	27	29	30	15	31	27
合計	317	326	319	325	279	294	294	278	336	274
利用可能	360	360	359	359	359	359	329	343	360	336
利用率	88.1%	90.6%	88.9%	90.5%	77.7%	81.9%	89.4%	81.0%	93.3%	81.5%

# ○体育センターの利用状況①

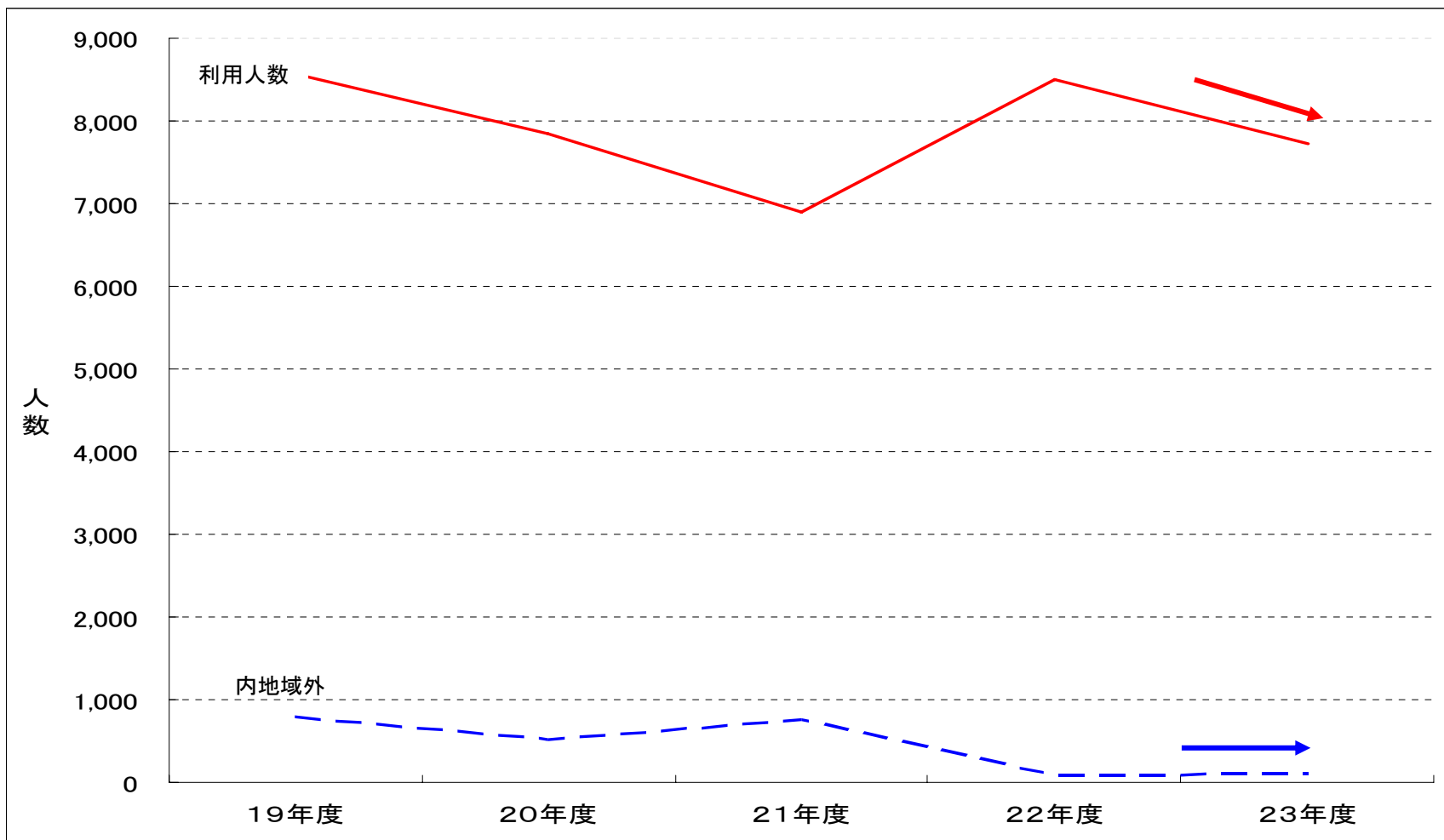
	体育センター			
	利用数		内地域外	
年度	件数	人数	件数	人数
19年度	435	8,563	24	789
20年度	413	7,842	20	509
21年度	431	6,894	34	754
22年度	521	8,499	6	81
23年度	461	7,728	6	110

⇒主な利用は中学校の部活でほぼ横ばい。

# ○体育センターの利用状況②(件数)



# ○体育センターの利用状況③(人数)



# ○体育センターの利用状況④(日数)

年度 月	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
4月	22	26	23	28	18
5月	27	22	26	24	18
6月	24	16	26	28	26
7月	24	21	30	28	22
8月	21	20	26	28	26
9月	24	22	25	25	25
10月	26	27	26	31	26
11月	24	26	27	28	30
12月	25	25	26	26	28
1月	28	26	26	28	27
2月	28	26	28	28	29
3月	30	31	31	25	30
合計	303	288	320	327	305
利用可能 日数	360	359	359	359	360
利用率	84.2%	80.2%	89.1%	91.1%	84.7%

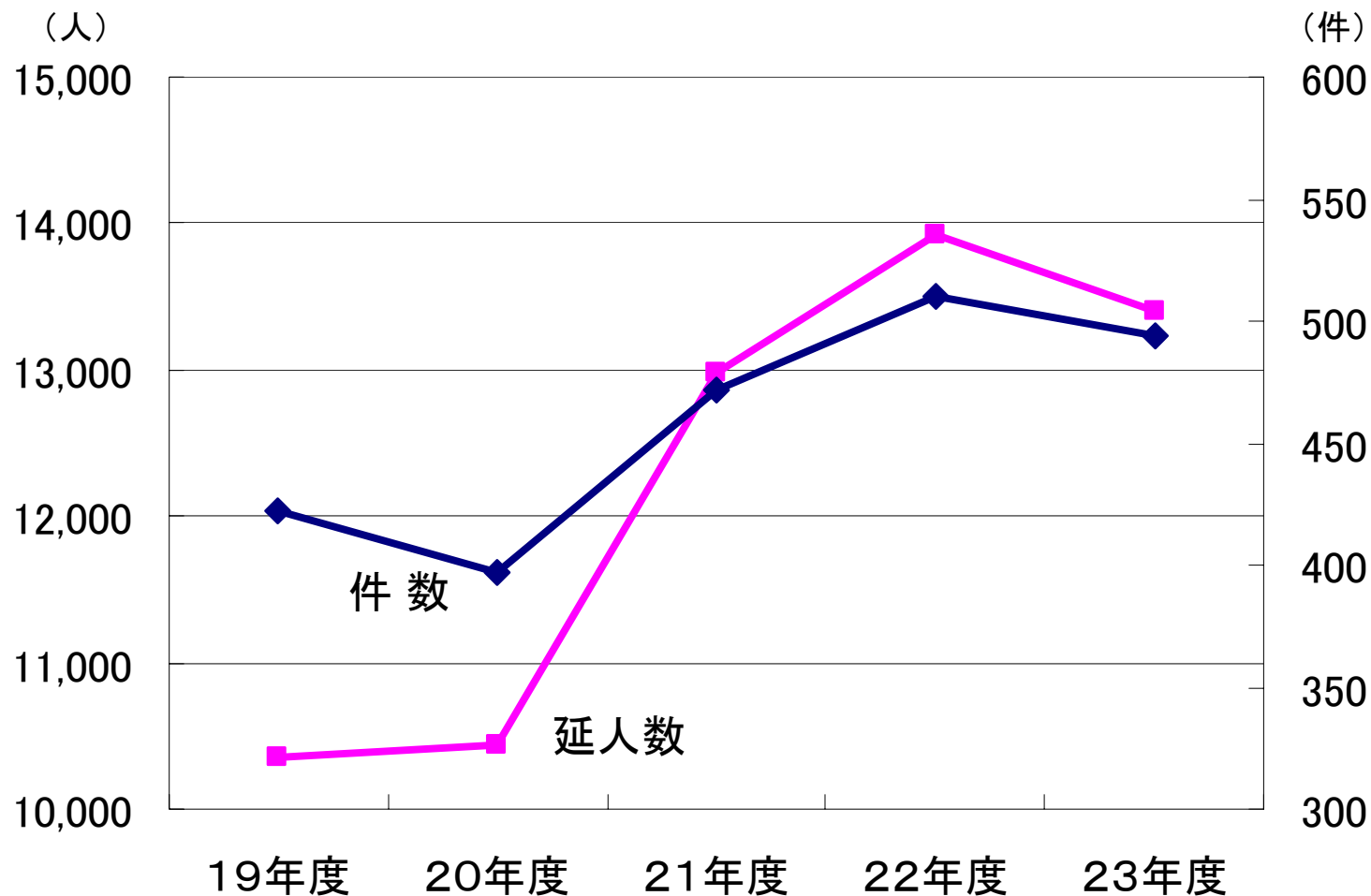


# ○テニスコートの利用状況①

	羽黒体育館(テニスコート)	
	利用数	
年度	件数	延人数
19年度	<u>422</u>	<u>10,361</u>
20年度	397	10,430
21年度	472	12,979
22年度	510	13,916
23年度	<u>494</u>	<u>13,399</u>

⇒テニスコートの利用は伸びている。主な利用は中・高部活とスポ少。

# ○テニスコートの利用状況②



⇒利用人数の伸びが著しい。

# ○テニスコートの利用状況③(日数)

年度 月	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
4月	25	24	29	28	29
5月	26	28	27	29	31
6月	25	25	27	27	27
7月	26	29	30	30	30
8月	24	30	26	29	29
9月	26	27	27	28	27
10月	26	27	28	30	31
11月	25	29	21	24	22
12月					
1月					
2月					
3月					
合計	203	219	215	225	226
利用可能 日数	209	244	244	244	240
利用率	97.1%	89.8%	88.1%	92.2%	94.2%

# ○農村センターグラウンド利用状況(日数)

年度 月	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
4月	8	9	8	6	13
5月	18	23	21	13	22
6月	20	21	22	17	25
7月	19	23	28	24	25
8月	10	16	24	18	24
9月	18	26	27	19	24
10月	16	27	20	21	22
11月	0	8	3	4	17
12月	0	0	0	0	1
1月	0	0	0	0	0
2月	0	0	0	0	0
3月	2	0	0	0	0
合計	111	153	153	122	173
利用可能 日数	229	229	229	229	247
利用率	48.5%	66.8%	66.8%	53.3%	70.0%

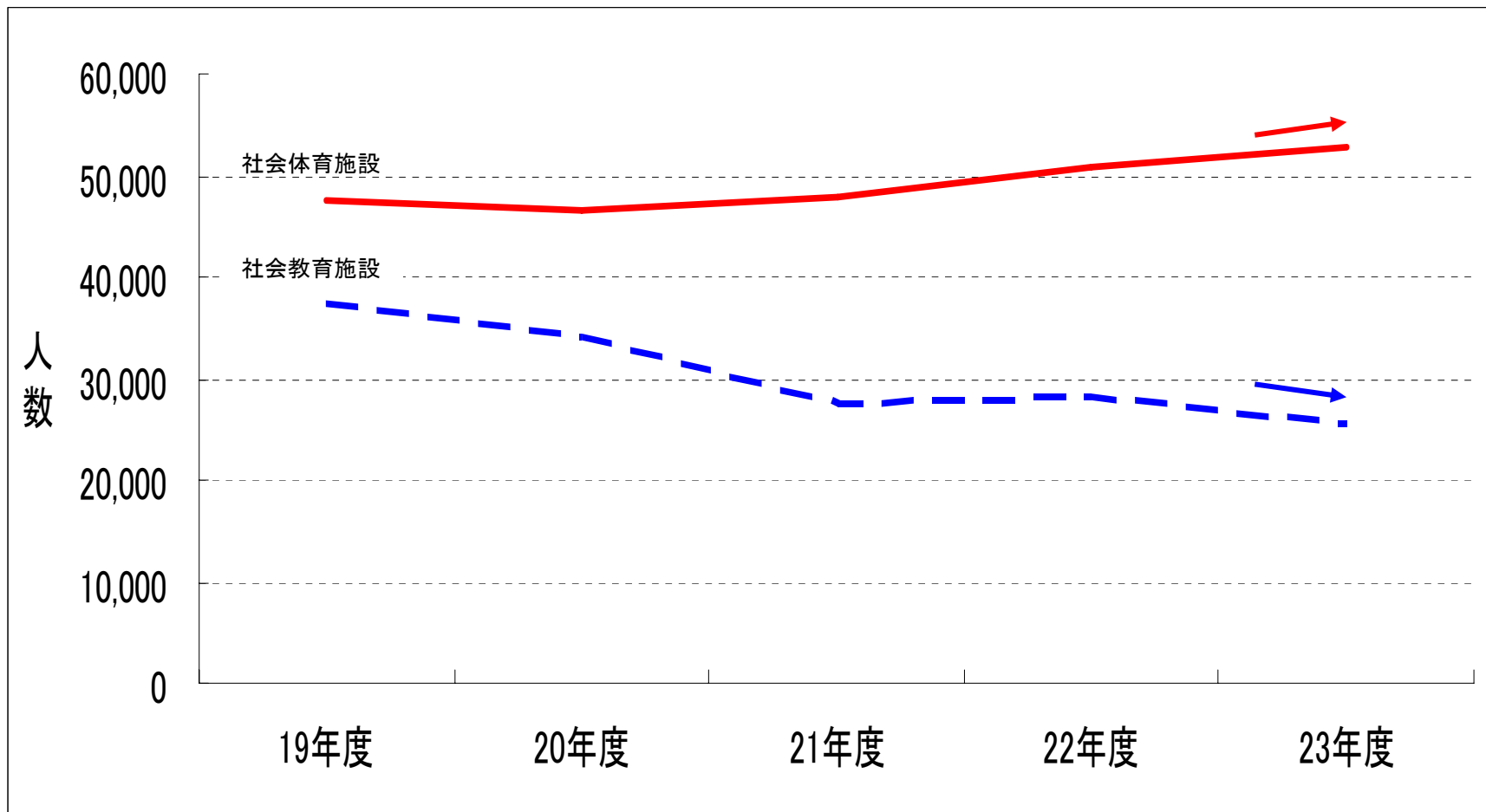
# ○社会教育・体育施設の利用状況①

▶ コミセン、体育館等の施設利用をまとめ傾向を分析

	社会教育施設		社会体育施設	
	利用数		利用数	
年度	件数	人数	件数	人数
19年度	1,981	37,488	1,836	47,685
20年度	1,641	34,007	1,838	46,401
21年度	1,455	27,425	1,959	47,732
22年度	1,441	28,132	2,100	50,980
23年度	1,296	25,543	2,114	52,903

⇒23年度は体育施設が社会教育施設利用の倍以上となっている。

# ○社会教育・体育施設の利用状況②



⇒社会教育施設利用が減少する中、社会体育施設の利用は伸びている。

# ○消防庁舎の状況

	庁舎面積 (㎡)					設置年月日	備考
	構造	建築面積	延面積	敷地面積	人数		
消防本部 本署	コンクリート造 5階建、一部鉄 骨造	2,219.93	5,609.70	9,501.79	53	S24.4.1 H23.4.1	開設 新築移転
中央分署	鉄筋造り 3階建	1,073.94	1,781.56	2,115.79	18	H23.4.1	開設
駅前分署	鉄筋造り 2階建	209.01	346.67	375.63	12	S30.5.9 S41.6.25	開設 新築移転
西分署	平屋建	437.77	437.77	2,551.42	18	H19.12.1	開設
温海分署	鉄筋造り 2階建	169.85	252.68	924.19	18	S49.3.28	開設
朝日分署	〃 〃	197.30	240.16	854.19	14	S49.3.28	開設
羽黒分署	〃 〃	192.24	235.10	131300	14	S49.10.1	開設
藤島分署	〃 〃	197.53	240.39	2377.46	14	S49.10.1	開設
櫛引分署	木平屋 造建	178.20	178.20	458.12	10	S50.10.1 H8.2.27	開設 新築移転

# 7. 人口、集落等の状況



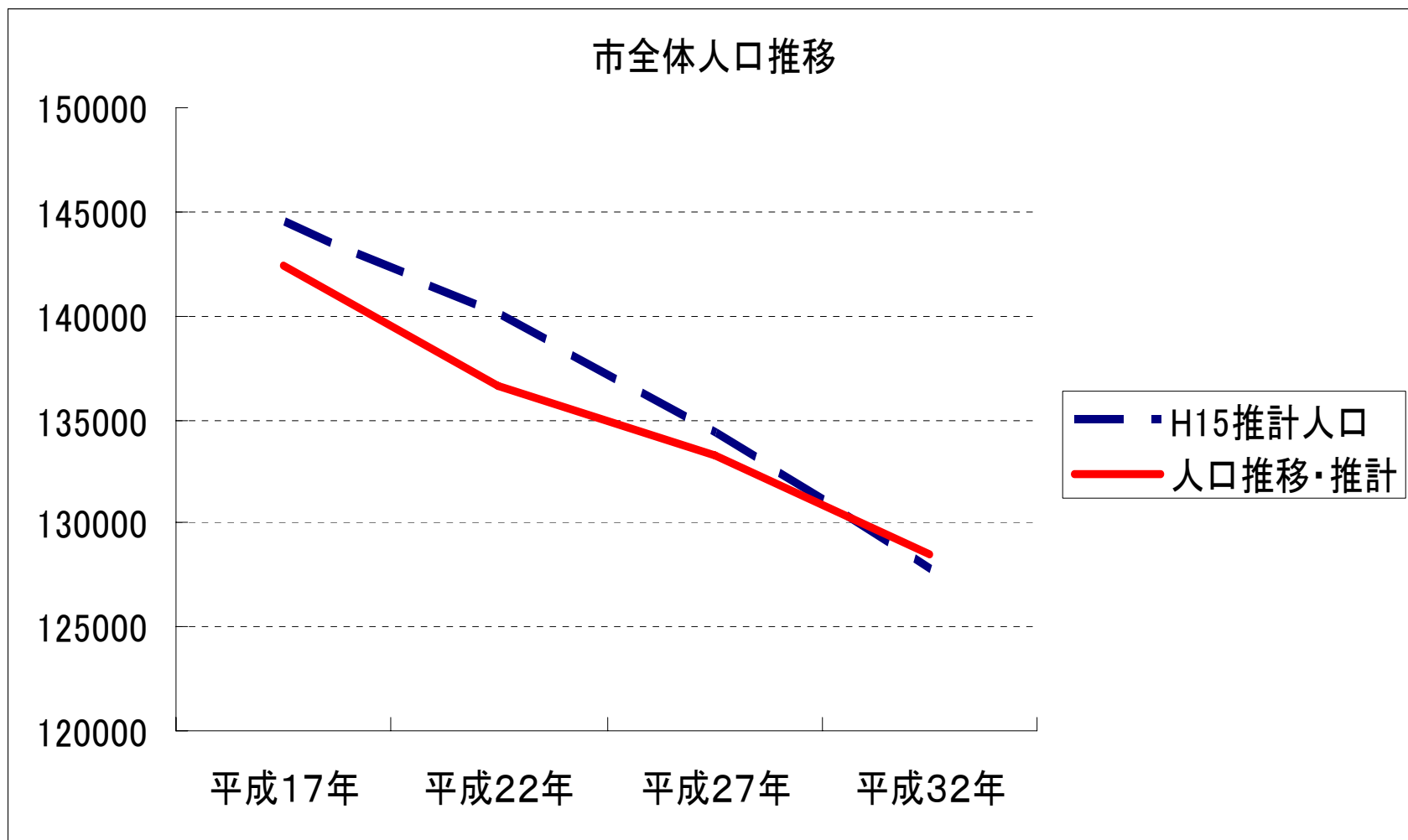
# ○人口の推移①

		平成17年	平成22年	平成24年	平成27年	平成32年
鶴岡市全体	人口 (推計)	142,384 (144,417)	136,623 (139,962)	136,146 (137,707)	133,296 (134,324)	128,546 (127,786)
藤島	人口 (推計)	11,595 (12,070)	11,065 (11,732)	11,137 (11,549)	10,755 (11,275)	10,191 (10,745)
羽黒	人口 (推計)	9,323 (9,230)	9,059 (8,737)	9,046 (8,526)	8,837 (8,210)	8,489 (7,679)
櫛引	人口 (推計)	8,320 (8,257)	7,794 (7,935)	7,783 (7,792)	7,553 (7,578)	7,170 (7,176)
朝日	人口 (推計)	5,378 (5,437)	4,798 (5,034)	4,834 (4,880)	4,607 (4,649)	4,229 (4,296)
温海	人口 (推計)	9,641 (9,762)	8,698 (8,956)	8,727 (8,660)	8,195 (8,216)	7,309 (7,475)

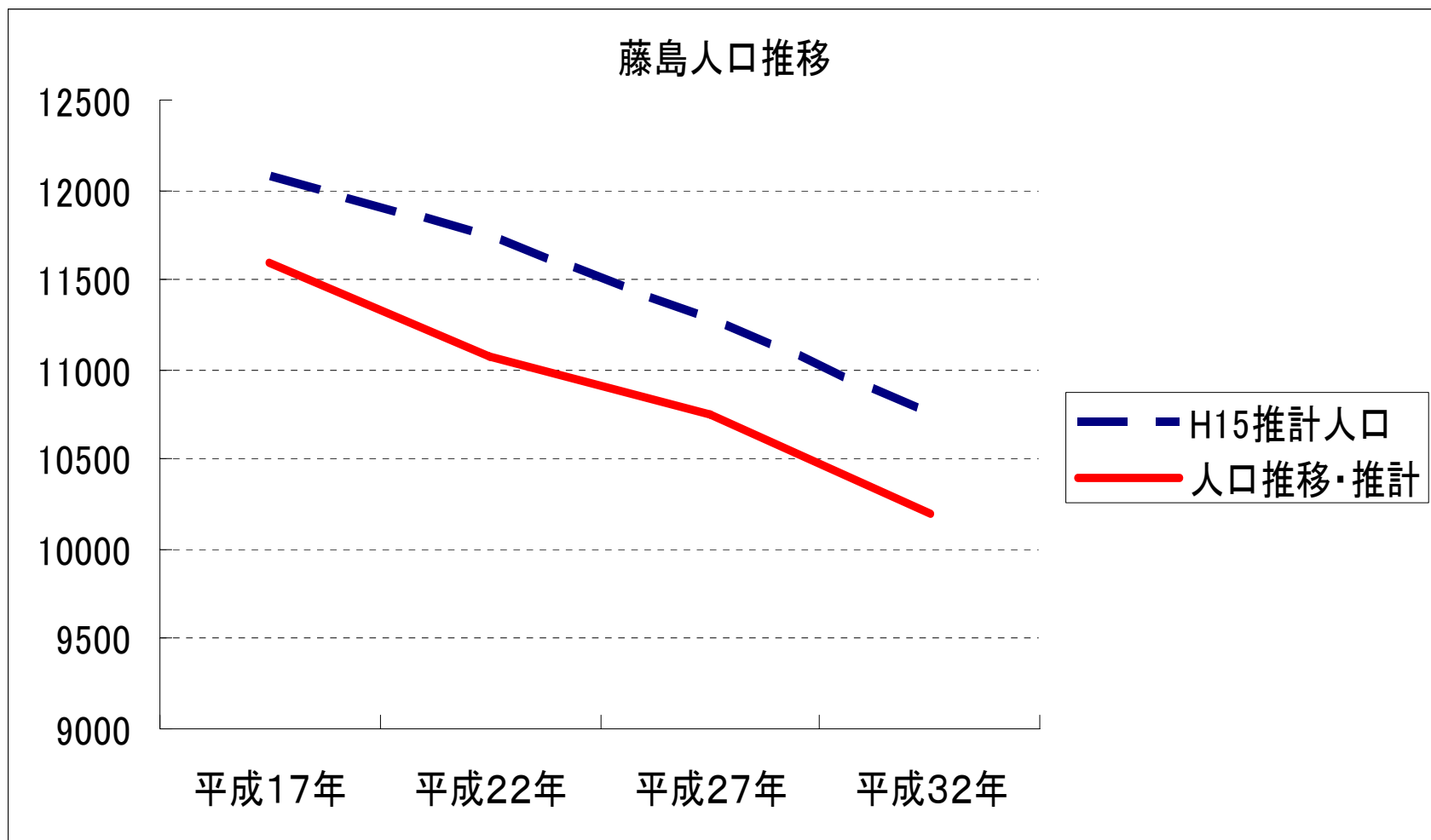
※平成17、22年人口は国勢調査、平成24年は住民基本台帳、平成27、32年は住民基本台帳より推計  
 ( )内推計人口は国立社会保障・人口問題研究所H15.12月推計

⇒羽黒地域の人口は他地域に比べ減少幅が小さい。これは赤川周辺の住宅開発によるものと推測される。ただし、今後は計画区域の見直しにより開発が抑制 64 されることから徐々に減少幅が大きくなると見込まれる。

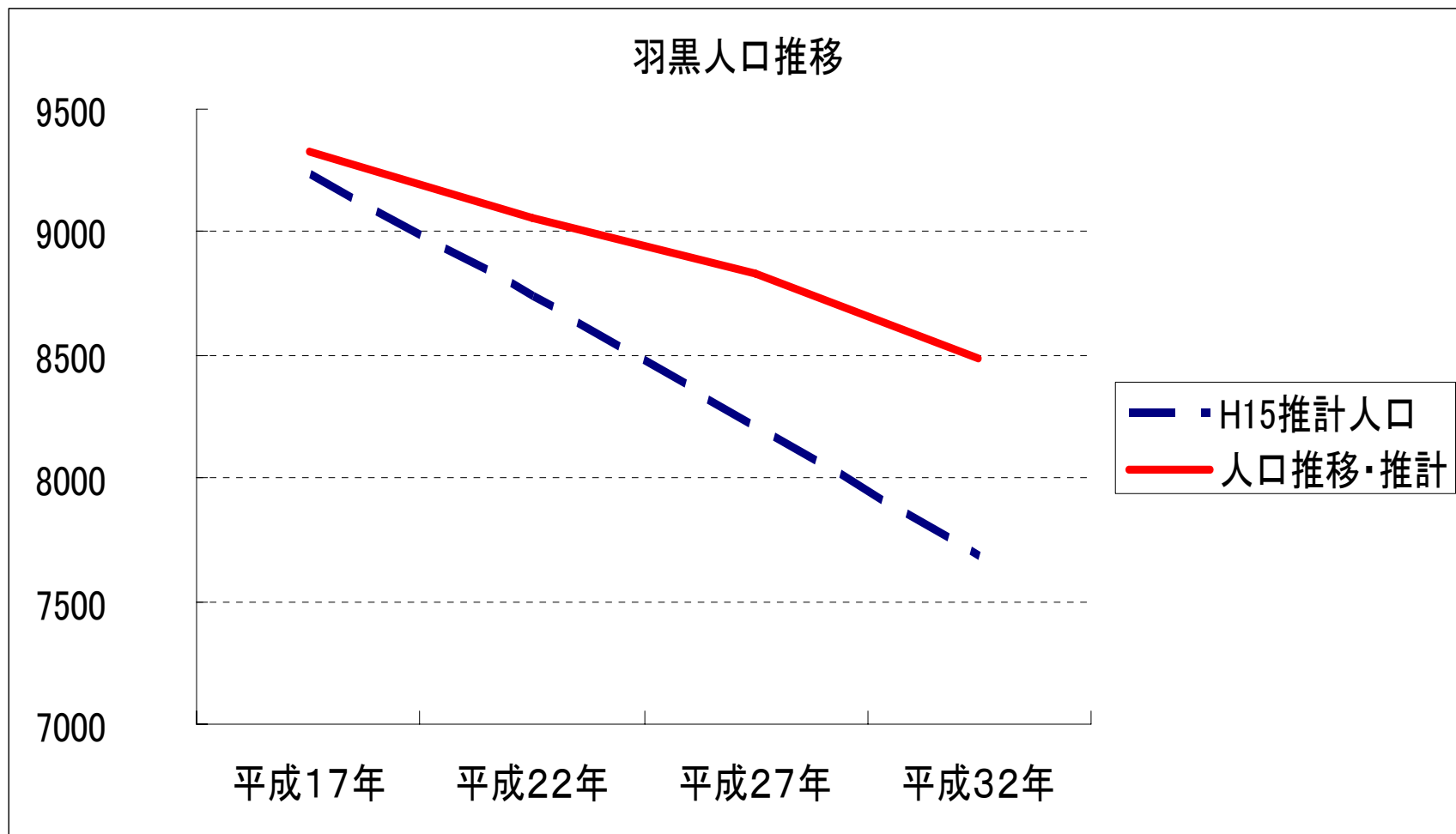
# ○人口の推移②(市全体)



# ○人口の推移③(藤島)

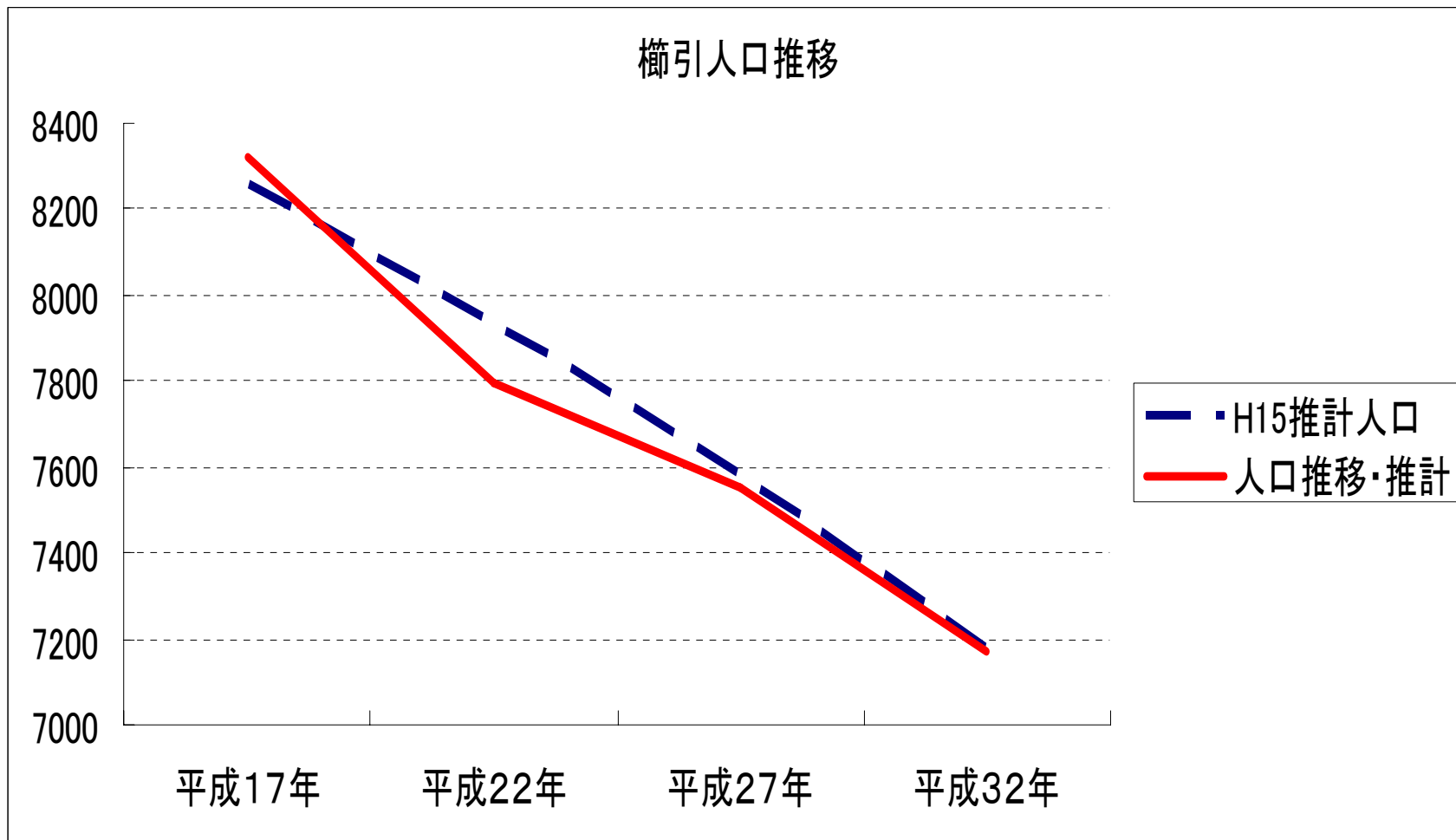


# ○人口の推移④(羽黒)

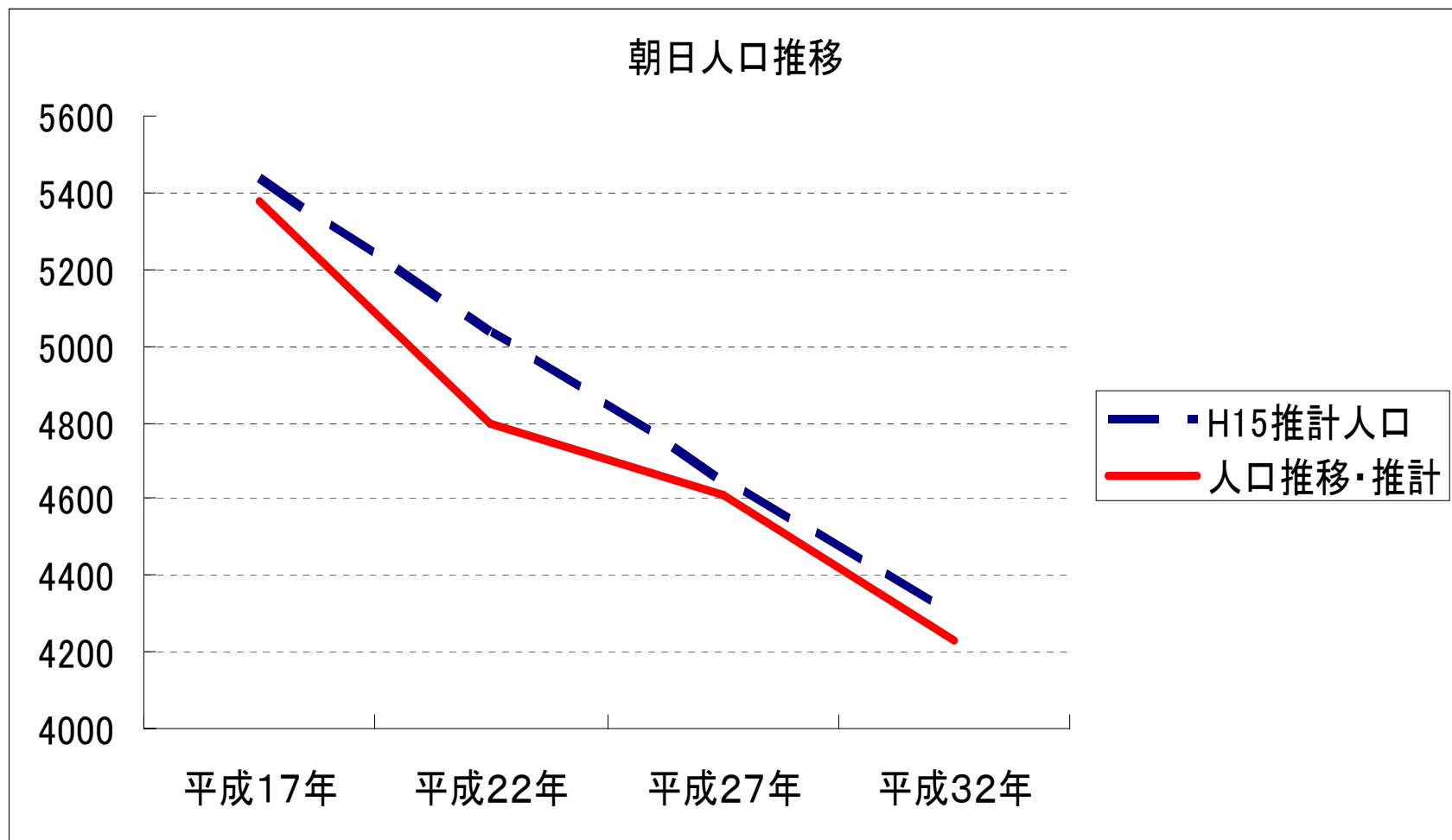


⇒羽黒地域の人口だけが予測された減少より減っていない。

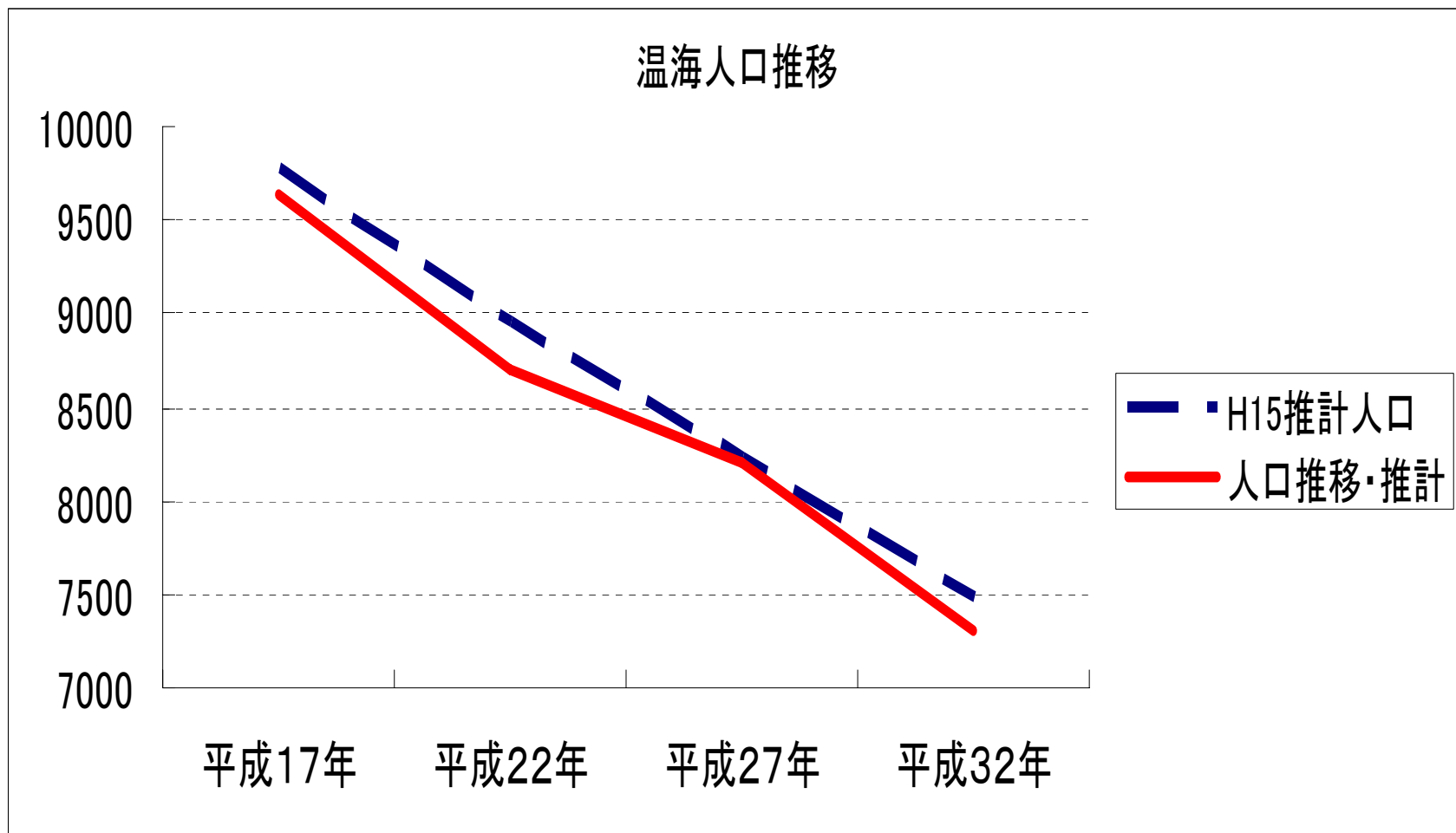
# ○人口の推移⑤（櫛引）



# ○人口の推移⑥(朝日)



# ○人口の推移⑦(温海)



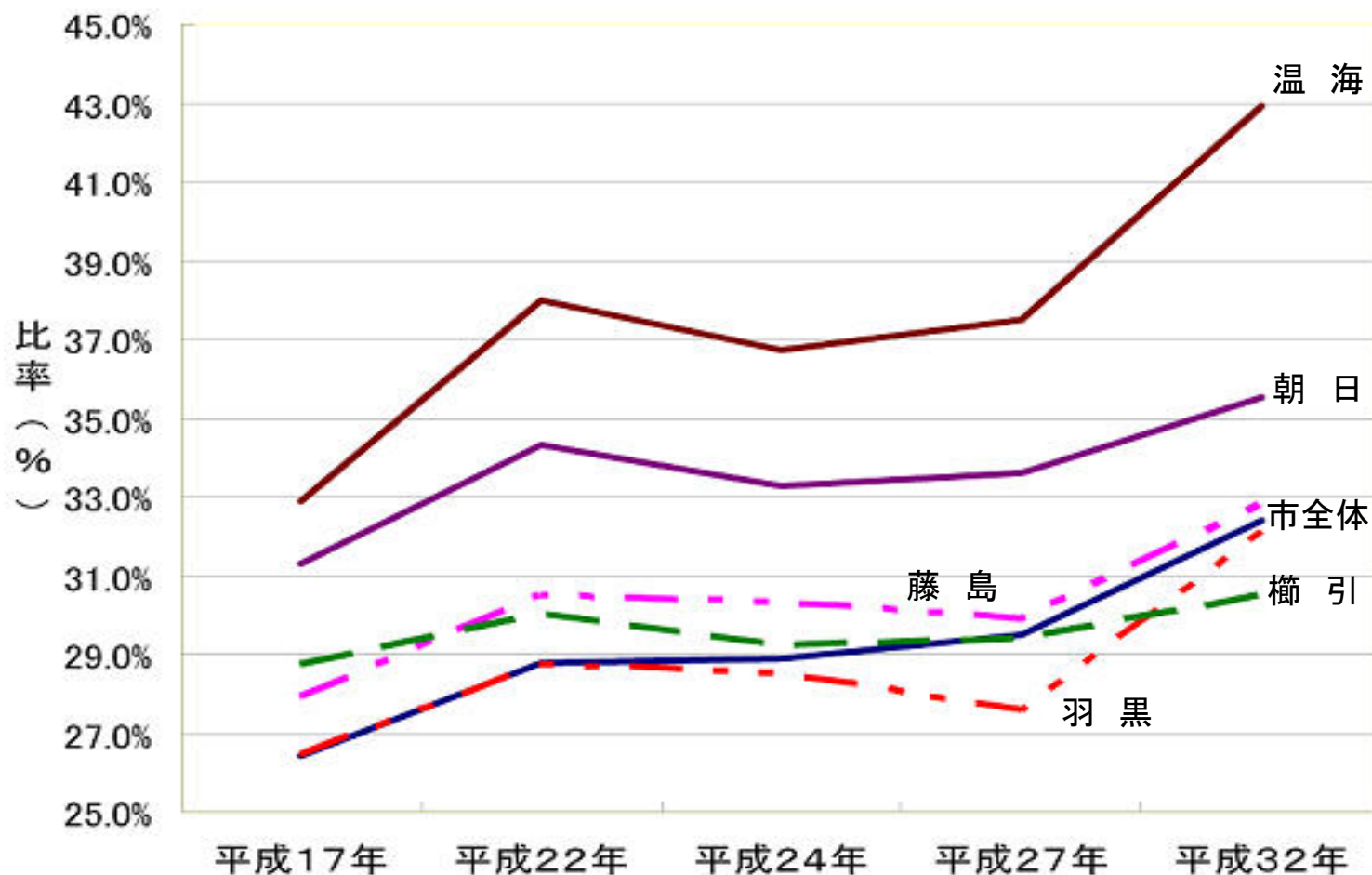
# ○高齢者人口と高齢化率の推移

	平成17年	平成22年	平成24年	平成27年	平成32年
鶴岡市	37,630(人)	39,348(人)	39,409(人)	39,598(人)	41,406(人)
	26.4(%)	28.8(%)	28.9(%)	29.5(%)	32.4(%)
藤島	3,232(人)	3,377(人)	3,375(人)	3,377(人)	3,529(人)
	27.9(%)	30.5(%)	30.3(%)	29.9(%)	32.8(%)
羽黒	2,463(人)	2,600(人)	2,581(人)	2,499(人)	2,638(人)
	26.4(%)	28.7(%)	28.5(%)	27.6(%)	32.1(%)
櫛引	2,385(人)	2,342(人)	2,275(人)	2,231(人)	2,191(人)
	28.7(%)	30.0(%)	29.2(%)	29.4(%)	30.5(%)
朝日	1,683(人)	1,644(人)	1,610(人)	1,561(人)	1,524(人)
	31.3(%)	34.3(%)	33.3(%)	33.6(%)	35.5(%)
温海	3,175(人)	3,307(人)	3,201(人)	3,079(人)	3,207(人)
	32.9(%)	38.0(%)	36.7(%)	37.5(%)	42.9(%)

※平成17年、27年人口は国勢調査及び推計、平成27年、32年は伸び率に基づく推計 現在人口は住民基本台帳 4/1現在



# ○高齢化率の推移



⇒羽黒地域の高齢化率は市全体(平均)を下回っている。

# ○地区別高齢者状況(ランキング)

65歳以上人口割合

地区	比率
温海	36.7%
朝日	33.3%
藤島	30.0%
櫛引	29.2%
全市平均	28.9%
羽黒	28.5%

1世帯当たり人員

地区	数(人)
櫛引	3.68
藤島	3.54
羽黒	3.53
朝日	3.50
温海	2.96
全市平均	2.85

一人暮らし高齢者と  
高齢者のみ世帯

地区	比率
温海	22.1%
朝日	16.1%
全市平均	15.0%
藤島	14.2%
櫛引	11.3%
羽黒	10.4%

一人暮らし高齢者世帯

地区	比率
温海	11.3%
朝日	8.1%
全市平均	7.9%
藤島	6.7%
櫛引	5.3%
羽黒	5.3%

高齢者のみ世帯

地区	比率
温海	10.8%
朝日	8.0%
藤島	7.5%
全市平均	7.1%
櫛引	6.0%
羽黒	5.1%

平成24年3月31日現在

⇒羽黒地域の高齢化率は低い。また、同居率が高く一人暮らし老人、老人のみ世帯割合は低い傾向にある。

# ○要介護認定高齢者割合①(人数)

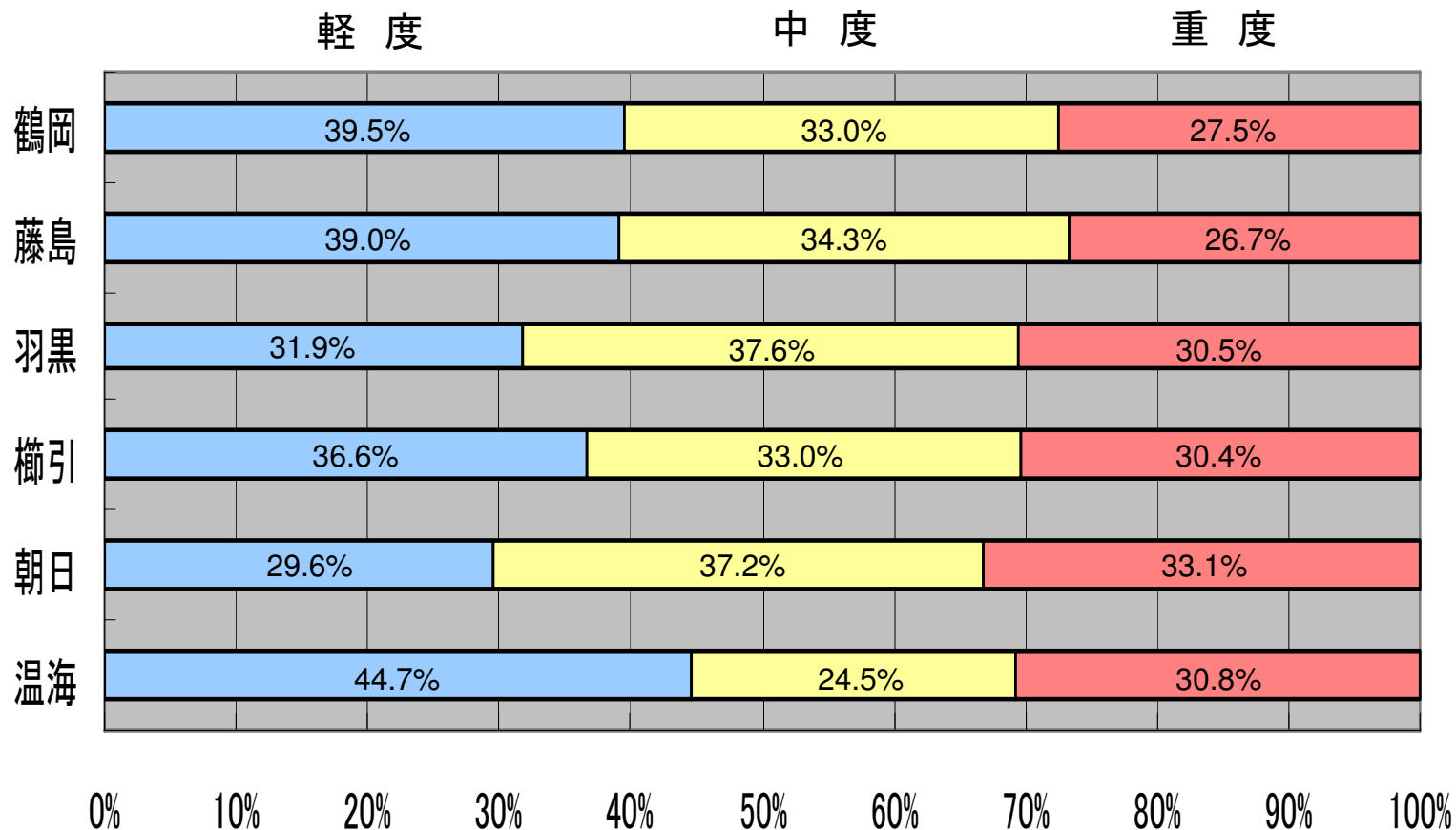
単位:人

地区	65歳以上人口	認定者総数	軽度 (支1,2,介1)	中度 (介2,3)	重度 (介4,5)
鶴岡	26,403	5,350 (20.3%)	2,112 (8.0%)	1,767 (6.7%)	1,471 (5.6%)
藤島	3,339	651 (19.5%)	254 (7.6%)	223 (6.7%)	174 (5.2%)
羽黒	2,581	524 (20.3%)	167 (6.5%)	197 (7.6%)	160 (6.2%)
櫛引	2,275	437 (19.2%)	160 (7.0%)	144 (6.3%)	133 (5.8%)
朝日	1,610	341 (21.2%)	101 (6.3%)	127 (7.9%)	113 (7.0%)
温海	3,201	620 (19.4%)	277 (8.7%)	152 (4.7%)	191 (6.0%)

65歳以上人口は住民基本台帳、H24.3末現在 介護予防事業検討資料より作成

⇒羽黒地域は高齢化率が低いものの要介護認定者の割合が高い。

# ○要介護認定高齢者割合②(構成比)



H24.3末現在 介護予防事業検討資料より作成

⇒羽黒地域の要介護認定者は中度、重度の割合が高い傾向にある。

# ○羽黒地域の中学生以下人口

単位：人

	男	女	計	うち幼・保・学童利用者数
0歳児	36	35	71	保 10
1歳児	40	32	72	保 30
2歳児	29	29	58	保 37
<u>3歳児</u>	36	32	<u>68</u>	<u>保 66</u>
<u>4歳児</u>	34	40	<u>74</u>	<u>保 68</u>
<u>5歳児</u>	13	16	<u>71</u>	保 42 ・ 幼 26 (計 68 )
小学1年生	34	34	69	学童 25
小学2年生	39	33	71	学童 19
小学3年生	41	25	69	学童 12
小学4年生	51	46	96	学童 3
小学5年生	30	30	61	学童 0
小学6年生	46	39	86	学童 0
中学1年生	31	48	80	
中学2年生	50	38	87	
中学3年生	43	40	82	

平成24年3月末現在

⇒就学前児童の多くが保育所、幼稚園を利用している。

# ○集落数等の状況

地区	集落数	学区数	備考
藤 島	61	4	
羽 黒	71	4	集落数に執行坂含む
櫛 引	21	3	
朝 日	38	3	
温 海	27	5	

⇒羽黒地域の集落数は他地域に比べて多く、集落を対象とするコミュニティ業務や集落単位とする農業の申請業務の件数など窓口事務が相対的に多くなっている。

# 8. 観光・農業の状況

# ○観光入込客数の推移①(地域別)

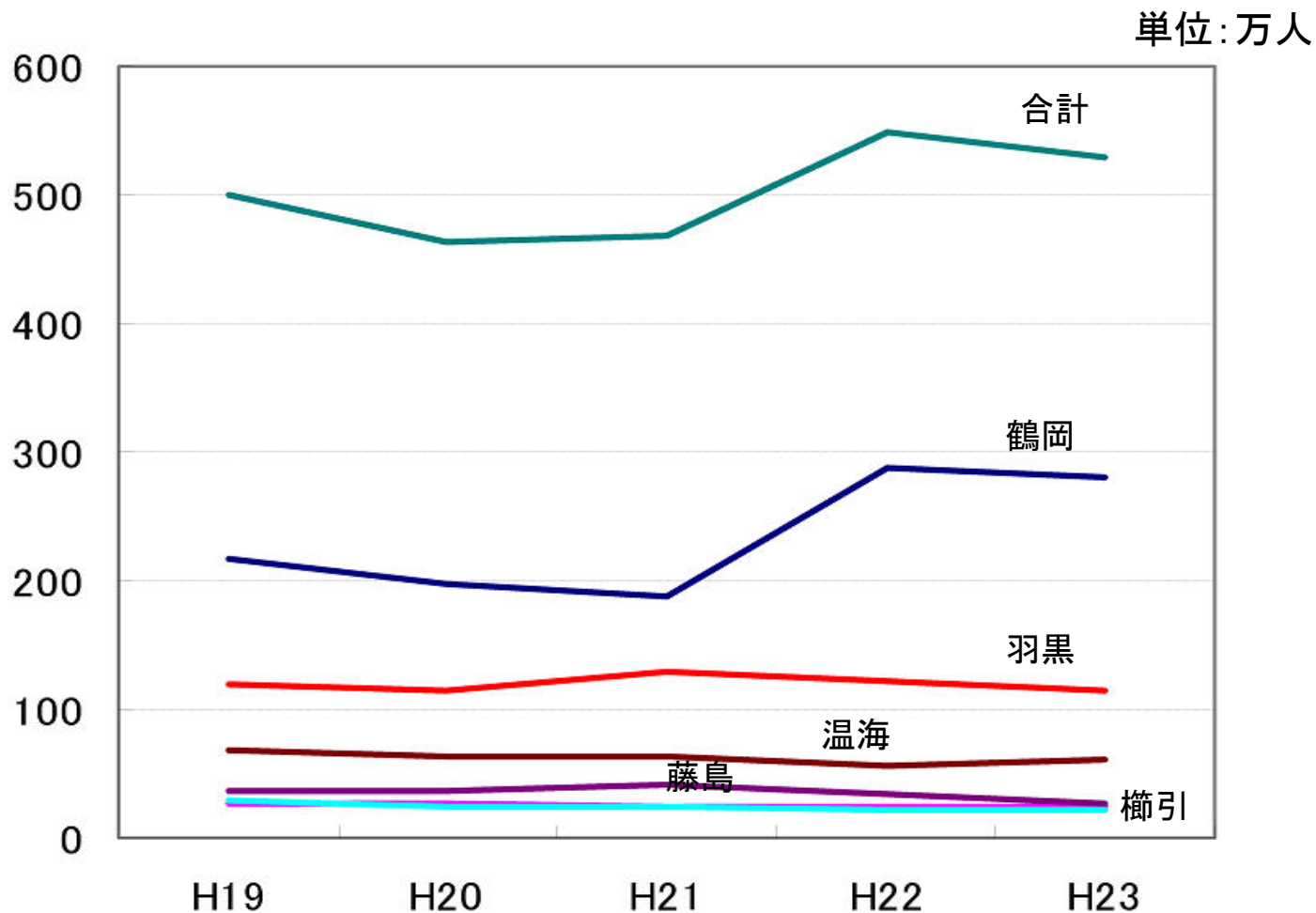
単位:万人

地区	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
鶴岡	216.35	198.47	187.67	287.34	279.68
藤島	27.71	26.07	24.38	24.95	24.78
羽黒	119.86	114.78	129.63	122.47	114.02
櫛引	28.62	24.59	23.68	21.4	21.15
朝日	37.21	36.66	40.91	34.85	30.01
温海	69.41	63.48	62.44	56.9	60.45
合計	499.16	464.05	468.71	547.91	530.09

平成24年度市政概要



# ○観光入込客数の推移②(地域別)



⇒羽黒の観光入込数はほぼ一定している。

# ○観光入込客数の推移③(羽黒内訳)

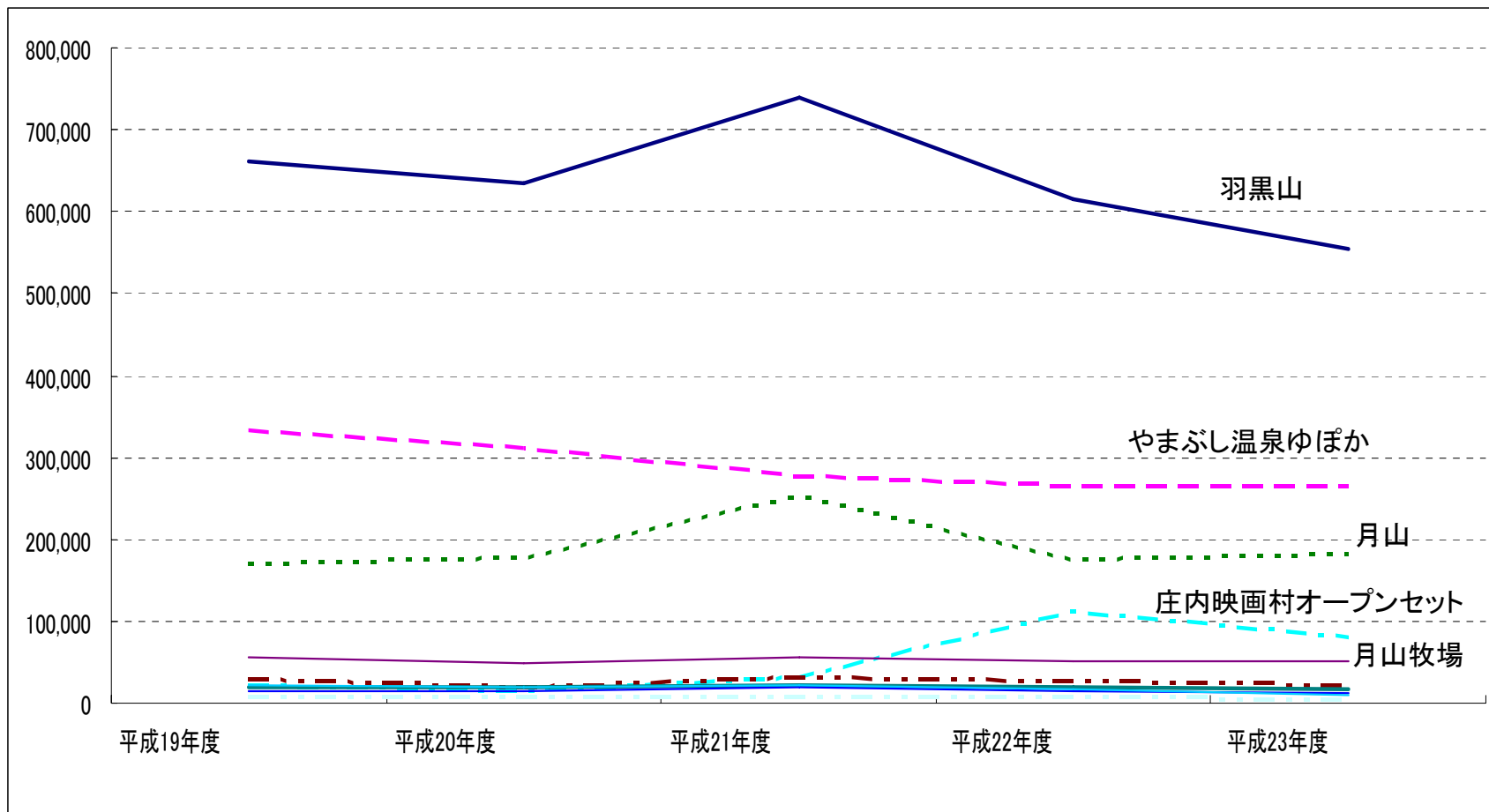
単位:人

観光施設等	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度
羽黒山	660,900	633,600	739,100	615,800	554,500
やまぶし温泉ゆぽか	333,355	311,209	277,921	265,376	264,731
月山	169,700	177,700	252,700	175,400	182,200
庄内映画村オープンセット	22,866	13,881	31,087	110,990	81,374
月山牧場	55,431	48,398	54,736	50,963	50,723
松ヶ岡(記念館、映画村資料館)	28,322	20,219	30,652	26,514	22,133
休暇村(休憩、キャンプ含む)	19,694	19,114	22,279	19,699	16,572
玉川寺	14,900	15,482	18,911	15,432	13,150
月山VC	21,819	18,951	20,790	15,921	10,122
いでは文化記念館	7,474	7,442	7,726	6,601	6,034

平成24年3月末時点 羽黒庁舎産業課観光商工室集計

# ○観光入込客数の推移④(羽黒内訳)

単位:人



平成24年3月末時点 羽黒庁舎産業課観光商工室集計

⇒平成21年は丑年御縁年

# ○グリンツーリズム修学旅行受入状況

	平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度	
	受入 農家数	生徒数	受入 農家数	生徒数	受入 農家数	生徒数	受入 農家数	生徒数
鶴岡地域	58	230	72	346	56	286	8	202
藤島地域	62	206	67	222	66	225	0	0
羽黒地域	21	82	20	99	0	0	14	48
櫛引地域	37	83	44	115	39	102	31	84
朝日地域	0	0	5	33	0	0	0	0
温海地域	0	0	16	64	0	0	0	0

⇒受入れは鶴岡、櫛引、羽黒が中心となっている。

# ○産出額・農家数・耕地面積の推移

	農業産出額(百万円)			販売農家数(戸)			経営耕地面積(ha)		
	S60	H16	増減	H7	H22	増減	H7	H17	増減
鶴岡市全体	45,658 (100%)	26,130 (100%)	- 42.8%	6,801	4,538	- 33.3%	17,635	16,105	-8.7%
藤 島	9,298 (20.4%)	4,820 (18.4%)	- 48.2%	1,133	717	- 36.7%	3,656	3,360	-8.1%
羽 黒	8,132 (17.8%)	4,490 (17.2%)	- 44.8%	1,092	793	- 27.4%	3,281	3,149	-4.0%
櫛 引	5,777 (12.7%)	3,260 (12.5%)	- 43.6%	867	646	- 25.5%	2,043	1,972	-3.5%
朝 日	2,392 (5.2%)	1,240 (4.7%)	- 48.2%	674	426	- 36.8%	1,082	889	- 17.8%
温 海	2,097 (4.6%)	1,090 (4.2%)	- 48.0%	616	321	- 47.9%	729	480	- 34.2%

資料: 鶴岡アグリプラン

⇒羽黒地域の農業は、産出額、販売農家戸数とも減少しているが、他地域に比べ経営耕地面積の減少が小さく、耕地面積の集約が進み農業が継続されている。

# ○地域に占める農家・農業人口

	総人口 (A)	総世帯数 (B)	販売 農家数 (C)	※農家 世帯員数 (D)	農業 就業人口 (E)	農家 世帯数 (C)/(B)	農家 世帯員率 (D)/(A)	農業 就業率 (E)/(A)
全体	136,627	45,496	4,538	21,959	7,864	10.0%	16.1%	5.8%
鶴岡※	95,206	34,110	1,635	8,057	3,239	4.8%	8.5%	3.4%
藤島	11,069	2,969	717	3,498	1,292	24.1%	31.6%	11.7%
羽黒	9,059	2,330	793	3,812	1,430	<u>34.0%</u>	<u>42.1%</u>	<u>15.8%</u>
櫛引※	7,797	1,987	646	3,073	919	32.5%	39.4%	11.8%
朝日	4,795	1,262	426	1,997	601	33.8%	41.6%	12.5%
温海	8,701	2,838	321	1,411	383	11.3%	16.2%	4.4%

※資料：国勢調査(H22)速報値、農林業センサス(H22)  
 ※鶴岡市推計値を含む。農家世帯数の合計は一致しない。

⇒地域における農業従事者が多く、世帯員割合、就業率も高い。

# ○畜産農家及び飼養頭羽状況

(単位:戸、頭羽)H22年

	飼養頭羽数				農家数				計
	酪農	肉牛	養豚	養鶏	酪農	肉牛	養豚	養鶏	
鶴岡地域	36	358	10,681	204,206	2	24	6	8	40
藤島地域	65	700	1,651	122,480	4	14	5	5	28
羽黒地域	23	675	9,822	13,549	3	20	18	3	44
櫛引地域	0	186	3,439	430	0	7	4	1	12
朝日地域	0	51	0	0	0	13	0	0	13
温海地域	0	218	5,587	950	0	13	6	2	21
計	124	2,188	31,180	341,615	9	91	39	19	158

⇒他の地域に比べ、畜産農家数、養豚の飼育数が多い。

資料:市農政課調べ

# 9. 防災の状況



# ○地域別火災発生件数

種別	火災種別															
	建物火災				林野火災				車両火災				その他			
年	20年	21年	22年	23年	20年	21年	22年	23年	20年	21年	22年	23年	20年	21年	22年	23年
鶴岡	20	21	24	18	2	1	2	1	3	4	4	3	4	1	2	3
藤島	4	4	1	4										2	4	3
羽黒	7	3	2	4	3	1	1		1				1			2
櫛引	3	1	2	2					1		1		2		1	
朝日	1	3	1	1		1					2					1
温海	4	5	8	2	1								1	1	2	1

⇒林野火災の発生頻度が高い傾向にある。

# ○地域別救急出動件数

地 区	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年
鶴 岡	3,562	3, 383	3,646	3,714
藤 島	404	415	408	359
羽 黒	391	366	379	373
櫛 引	289	292	295	364
朝 日	200	243	217	223
温 海	441	364	460	445

⇒温海地区を除き、ほぼ人口規模に比例。

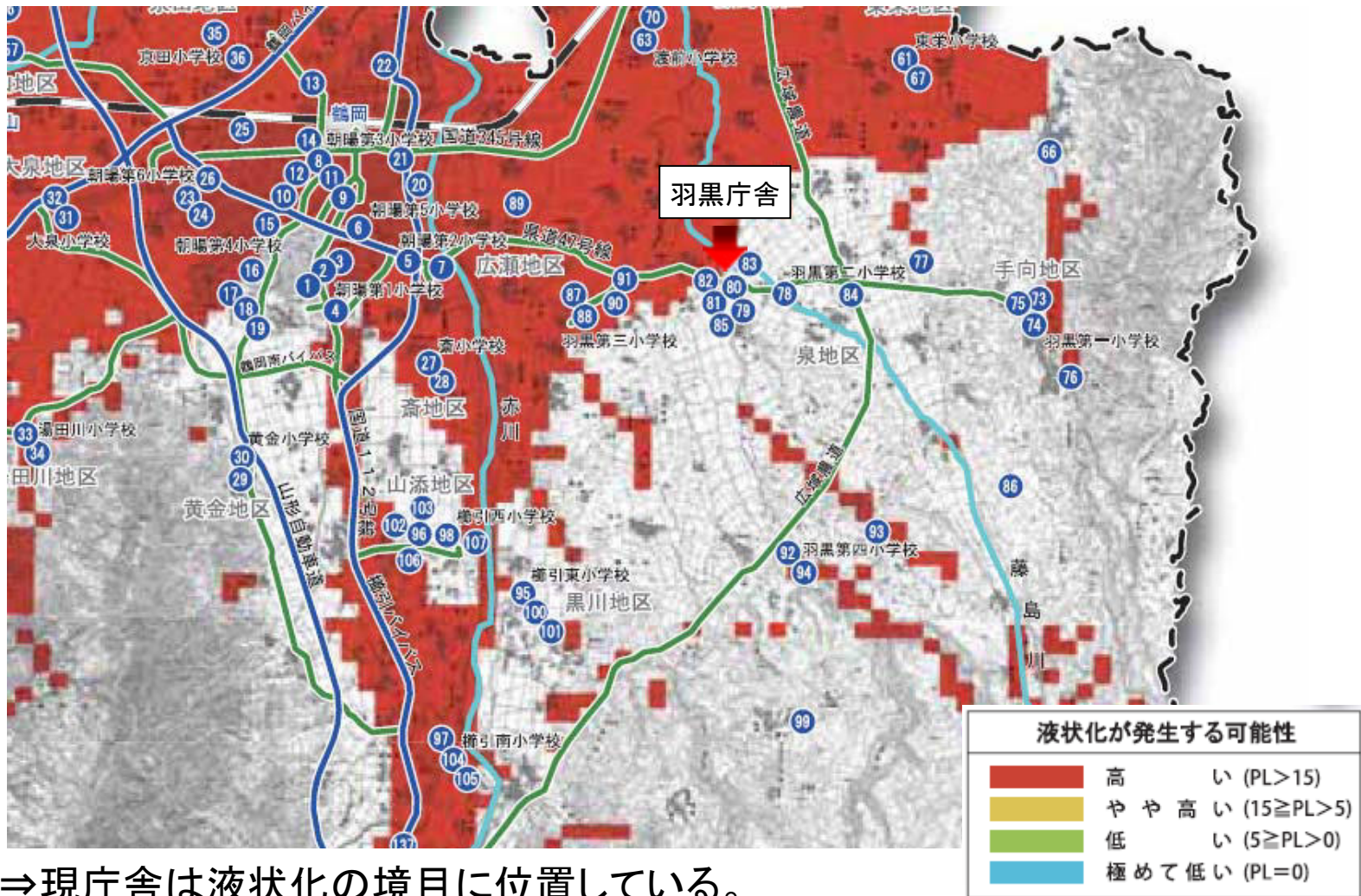
# ○月山等救助要請・対応状況①(現況)

年度	救助要請総 件数	事務局対応 件数	うち山捜隊 出動件数	備 考
20年	7	4	0	
21年	2	0	0	
22年	4	4	2	
23年	3	3	3	
24年	7	2	0	

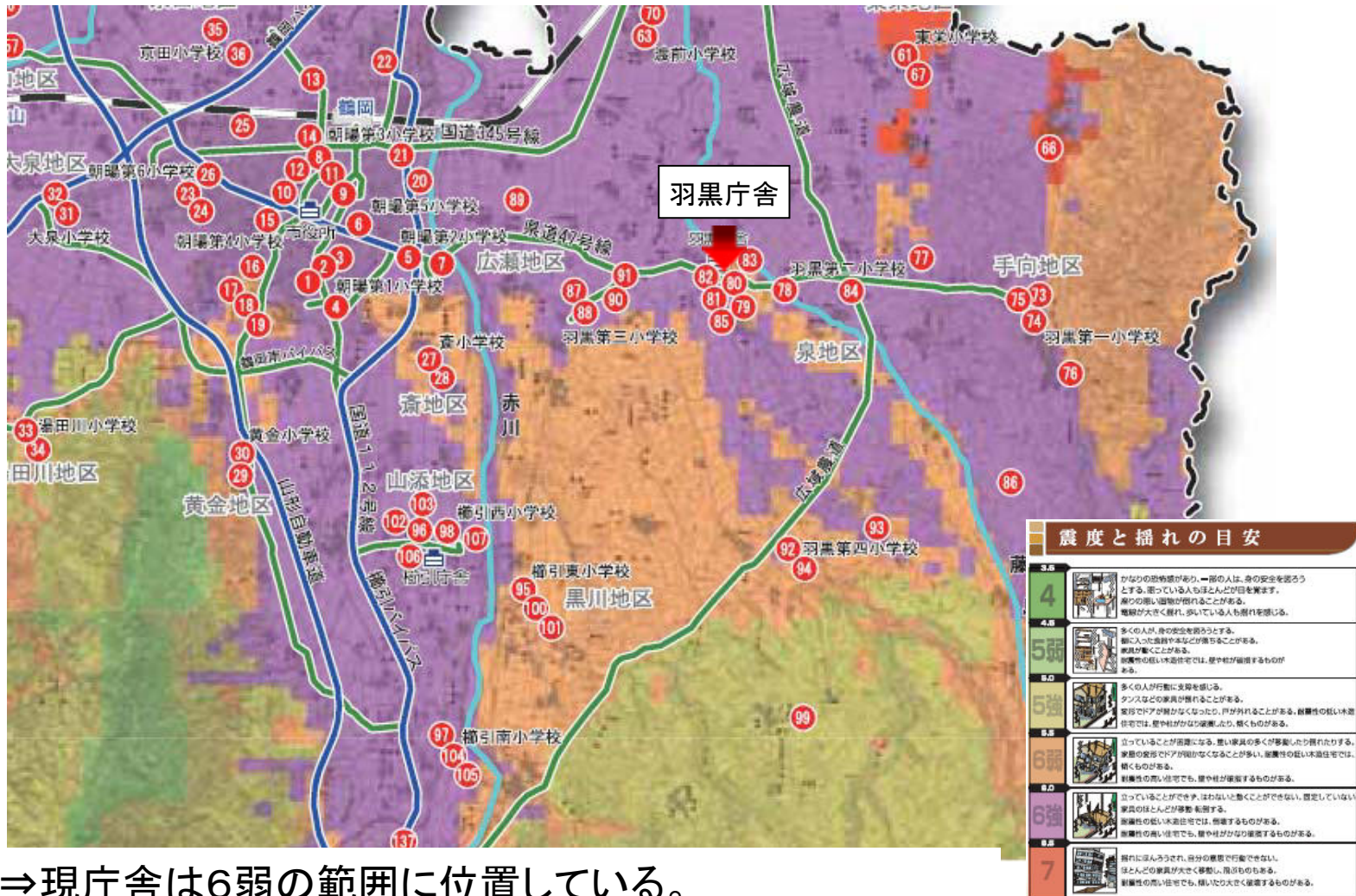
⇒事務局が対応しない事案は、消防・警察のみ対応で処理。



# ○ハザードマップ①(液状化)

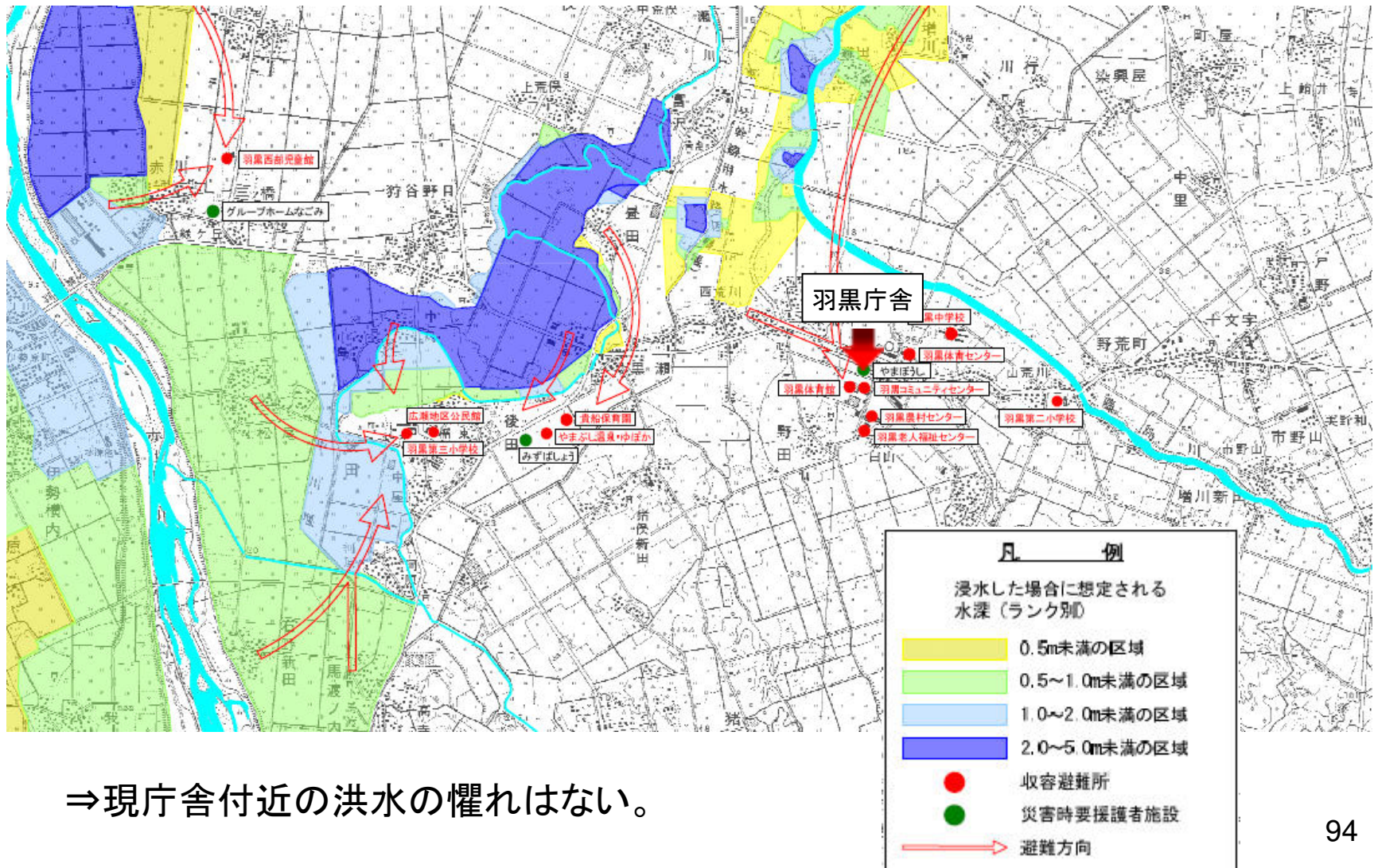


# ○ハザードマップ②(揺れやすさ)



⇒現庁舎は6弱の範囲に位置している。

# ○ハザードマップ③(洪水)



⇒現庁舎付近の洪水の恐れはない。

# ○管理道路の状況

単位: km

		市道延長(構成比:%)	道路除雪(構成比:%)	歩道延長(構成比:%)
本所		664.7 (44.1)	566.0 (50.7)	104.9 (68.0)
東部	藤島	169.9 (11.3)	128.6 (11.5)	15.1 (9.8)
	羽黒	213.9 (14.2)	150.1 (13.4)	9.8 (6.4)
南部	櫛引	142.7 (9.5)	116.8 (10.5)	19.4 (12.6)
	朝日	187.9 (12.5)	90.5 (8.1)	1.8 (1.2)
温海		128.6 (8.5)	64.3 (5.8)	3.2 (2.1)
合計		1507.7(100.0)	1116.3(100.0)	154.2(100.0)

平成23年度計画より抜粋、()内は全体に占める割合

⇒地域別では市道延長、道路除雪距離が最も長い。



## 羽黒地域審議会提言書作成の進め方

日 程	内 容
25 年 2 月 (第 4 回)	協議 ○今後 10 年間の予測 ○前回提言のマッピング
25 年 5 月 (第 1 回)	協議 ○マッピングを元にした優先順位の絞り込み ○課題の特定 (なぜ今まで出来なかったのか 阻害要因の追求)
25 年 8 月 (第 2 回)	協議 ○阻害要因解決の話し合い ○行政で出来ること、住民で出来ることの仕分けと目標値の設定
25 年 11 月 (第 3 回)	協議 ○成案調整
25 年 12 月 (予 定)	市長へ提言

# 過去10年の主な社会・経済出来事

	世界	日本	山形県	鶴岡市	備考
2002年 (H14)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ユーロ圏12カ国で欧州単一通貨「ユーロ」が現金通貨として流通開始(1月)</li> <li>・ソルトレークシティー冬季オリンピック(2月)</li> <li>・米格付け会社が日本国際を格下げ。G7で最低に(4月)</li> <li>・東ティモール民主共和国が発足(5月)</li> <li>・アフリカ連合発足(7月)</li> <li>・北朝鮮の金正日総書記が日本人拉致事件を認め謝罪(9月)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自衛隊が東ティモールに派遣(2月)</li> <li>・完全週休2日制「ゆとり教育スタート」(4月)</li> <li>・2002FIFAワールドカップ開幕(5月)</li> <li>・衆院小選挙区「5増5減」を柱とする改正公職選挙法成立(7月)</li> <li>・住民基本台帳ネットワーク開始(8月)</li> <li>・北朝鮮に拉致された日本人5名が帰国(10月)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県独自の少人数学級編成開始(4月)</li> <li>・県男女協同参画推進条例を制定(6月)</li> <li>・東北中央自動車道山形上山東根間開通(9月)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・加茂水族館が市立になる(4月)</li> <li>・公立学校の完全週5日制が始まる(4月)</li> <li>・ノーレジ袋デーが実施される(5月)</li> <li>・庄内南部地区合併協議会設立(9月)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・羽黒高校創立40周年記念</li> <li>・名誉町民、今井繁三郎氏死去(1月)</li> </ul>
2003年 (H15)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北朝鮮が核不拡散防止条例(NPT)から脱退(1月)</li> <li>・米英によるイラク侵攻作戦開始(イラク戦争勃発)3月～5月(終了)</li> <li>・トルコ大地震(5月)</li> <li>・米(ニューヨーク・デトロイト)カナダ(トロント)で大規模停電(8月)</li> <li>・日本の新発10年債利回りが史上最低水準(6月)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型肺炎(SARS)流行(4月)</li> <li>・日本郵政公社発足(4月)</li> <li>・有事関連法案成立(6月)</li> <li>・イラク復興支援特措法成立(7月)</li> <li>・地上デジタル放送開始(12月)</li> <li>・十勝沖地震 M8.0(9月)</li> <li>・日本産トキ絶滅(10月)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総務部に危機管理室を新設(4月)</li> <li>・個人情報保護法案成立(5月)</li> <li>・国文祭・やまがた2003開催(10月)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マリカ西館に「起業家育成施設」が完成(1月)</li> <li>・「鶴岡ワークプラザ」が勤労者会館にオープン(3月)</li> <li>・新荘内病院が開院(7月)</li> <li>・国道7号三川バイパス全線開通(9月)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新羽黒町総合計画策定(12月)</li> <li>・映画「蝉しぐれ」オープンセット完成、撮影開始(12月)</li> </ul>

	世界	日本	山形県	鶴岡市	備考
2004年 (H16)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際決済銀行(BIS)が新しい自己資本規制を決定(6月)</li> <li>・米連邦準備理事会(FRB)が4年ぶりに利上げ(6月)</li> <li>・アテネオリンピック(8月)</li> <li>・G7財務相・中央銀行総裁会議(ワシントン)に中国が初参加(10月)</li> <li>・ブッシュ米大統領が再選(11月)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国内で鳥インフルエンザ発生(1月)</li> <li>・国民年金未納問題(4月)</li> <li>・北朝鮮拉致被害者家族帰国(5月)</li> <li>・年金制度改革法成立(6月)</li> <li>・自衛隊イラク派遣(7月)</li> <li>・関西電力美浜原子力発電所で蒸気漏れ事故が発生(8月)</li> <li>・新潟県中越地震(10月)</li> <li>・配偶者特別控除廃止</li> <li>・新1万円, 5千円, 千円札発行(11月)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・山形もがみ国体開催(2月)</li> <li>・少人数学級を小学校全学年に拡大(4月)</li> <li>・台風相次ぎ来襲、庄内地方で大被害(10月)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・病後児保育施設を開設(2月)</li> <li>・鶴岡南バイパスが全線開通(5月)</li> <li>・子育て相談ができる「まんまルーム」をマリカ東館内にオープン(5月)</li> <li>・田川地区農業集落排水事業で「田川浄化センター」の供用開始(5月)</li> <li>・国土交通省酒田河川事務所が矢馳に鶴岡防災ステーションを設置(11月)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・川代山住宅団地「こぶしヶ丘」分譲開始(4月)</li> <li>・コミュニティセンター大規模改修完了(12月)</li> <li>・南庄内合併協議会設立(法定協議会)(11月)</li> </ul>
2005年 (H17)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝鮮半島非核化へ多国間合意(2月)</li> <li>・インドネシア、スマトラ島沖地震M9.0(3月)</li> <li>・中国が人民元を切り上げ「通貨バスケット制」を導入(7月)</li> <li>・欧州中央銀行(ECB)が約5年ぶりに利上げ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・愛知万博開催(3月～9月)</li> <li>・個人情報保護法施行(4月)</li> <li>・JR尼崎脱線転覆事故(4月)</li> <li>・ペイオフ全面解禁(5月)</li> <li>・衆議院総選挙で自民党圧勝(9月)</li> <li>・郵政民営化法案成立(10月)</li> <li>・日本道路公団分割民営化(10月)</li> <li>・耐震強度計算偽装問題(11月)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ソウル事務所開設(4月)</li> <li>・余目・立川両町が合併、庄内町が発足(7月)</li> <li>・市町村合併で新鶴岡市が発足(10月)</li> <li>・市町村合併で新酒田市が発足(11月)</li> <li>・JR羽越本線特急「いなほ」が脱線転覆事故(12月)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・加茂水族館「クラネタリウム」改装オープン(3月)</li> <li>・東北公益文科大学大学院開学(4月)</li> <li>・鶴岡市体育館解体(5月)</li> <li>・由良地区漁業集落排水施設供用開始(4月)</li> <li>・リサイクルプラザ「くるりん館」稼動(4月)</li> <li>・「鶴岡アートフォーラム」開館(8月)</li> <li>・庄内南部地区農免農道「鶴羽橋」開通(11月)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町坂施行記念式典開始(2月)</li> <li>・新島村友好盟約20周年記念式典(2月)</li> <li>・羽黒町閉町式(9月)</li> </ul>

	世界	日本	山形県	鶴岡市	備考
2006年 (H18)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・太陽系惑星から冥王星除外(8月)</li> <li>・北朝鮮が地下核実験、国連が制裁(10月)</li> <li>・トリノ冬季オリンピック(2月)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ライブドアショック、新興市場株低迷(1月)</li> <li>・JR上場3社(JR東日本、JR西日本、JR東海)が完全民営化(4月)</li> <li>・日銀が「ゼロ金利政策」を解除(7月)</li> <li>・いじめ自殺多発(10月)</li> <li>・日本郵政株式会社発足</li> <li>・改正教育基本法が成立(11月)</li> <li>・住宅に火災報知機義務化</li> <li>・景気拡大の「いざなぎ」越えを確認(11月)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・やまがた総合発展計画制定(3月)</li> <li>・全国農業青年交換大会開催(9月)</li> <li>・高校必修科目未履修問題(10月)</li> <li>・やまがた緑環境税条例制定(12月)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鶴岡市の組織機構を改編 各地域庁舎は、5課1室を配置(4月)</li> <li>・「地域包括支援センターつるおか」開所(4月)</li> <li>・鶴岡市先端研究産業支援センター完成(6月)</li> <li>・鶴岡地区合併協議会が発足(6月)</li> <li>・国土交通省と厚生労働省共同プロジェクト「在宅・長寿の我がまちづくり」のモデル地域に指定(7月)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・庄内クラフトフェアin松ヶ丘の開催(4月)</li> </ul>
2007年 (H19)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サブプライムローン問題で各国の中央銀行が緊急の資金供給を実施(8月)</li> <li>・仏銀大手BNPパリバがサブプライムローンの損失で傘下のファンドを凍結すると発表、「パリバ・ショック」(8月)</li> <li>・米連邦準備理事会(FRB)が4年ぶりに利下げ(9月)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防衛省が発足(1月)</li> <li>・日銀が追加利上げを決定(1月)</li> <li>・能登半島沖地震(3月)</li> <li>・社会保険庁の年金記録問題発生(4月)</li> <li>・国民投票法成立(5月)</li> <li>・新潟県中越沖地震(7月)</li> <li>・参院選で民主党が第一党に(7月)</li> <li>・皆既月食(8月)</li> <li>・日本郵政株式会社(他4会社)スタート(10月)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・殖産銀行と山形しあわせ銀行が合併し、きらやか銀行が誕生(5月)</li> <li>・鬼面川上流(米沢市)に綱木川ダムが完成(8月)</li> <li>・台風9号、果実農家に深刻な被害(9月)</li> <li>・県山岳連盟中国チベット登山隊が未踏峰ヤラシャンポに初登頂(10月)</li> <li>・鳥海山大物忌神社境内が国史跡指定(11月)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「無形文化遺産の保護とコミュニティーの事例研究ワークショップ」が開催(6月)</li> <li>・再整備した月山レストハウスがオープン(7月)</li> <li>・第1回鶴岡市防災会議開催(9月)</li> <li>・大鳥池山小屋に土壌蒸発処理方式のトイレ完成(11月)</li> <li>・消防湯野浜分署と大山分署を統合し新たに西分署を開所(12月)</li> <li>・「災害時の応急生活物資供給等の協力に関する協定」締結(1月)</li> </ul>	

	世界	日本	山形県	鶴岡市	備考
2008年 (H20)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中国製ギョーザによる中毒事件(1月)</li> <li>・中国、四川省でM8.0の大地震(5月)</li> <li>・北京オリンピック(8月)</li> <li>・米証券リーマンブラザーズ経営破綻(9月)</li> <li>・米大統領選、バラク・オバマが当選(11月)</li> <li>・米連邦準備理事会(FRB)、史上初の「実質ゼロ金利政策」を導入(12月)</li> <li>・ロシア大統領メドベージェフ、氏が選ばれる。首相はプーチン氏が就任(12月)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・後期高齢者医療制度スタート(4月)</li> <li>・東京、秋葉原で無差別殺人(6月)</li> <li>・後部座席シートベルト着用義務化(6月)</li> <li>・北海道洞爺湖サミット開催(7月)</li> <li>・改正労働基準法成立(12月)</li> <li>・派遣労働者等の失業問題が深刻化(12月)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・やまがた緑環境憲章制定(1月)</li> <li>・酒田市の県立日本海、市立酒田両病院が統合し、日本海総合病院が誕生(4月)</li> <li>・山形、庄内両県本部の統合で、JA全農山形が発足(4月)</li> <li>・県公共調達基本条例施行(7月)</li> <li>・山形県聴覚障がい者情報支援センター開所(10月)</li> <li>・第3回3R推進全国大会開催(10月)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市の消防団を再編、9方面隊・40分団からなる「鶴岡市消防団」発足(4月)</li> <li>・図書館本館・分館で統一した新しい図書館システム導入(5月)</li> <li>・「鶴岡市給水条例」の改正施行(6月)</li> <li>・市内6事業者の計37店舗でレジ袋無料配布取りやめがスタート(9月)</li> <li>・大山上池・下池が「ラムサール条約」の登録湿地になる(10月)</li> </ul>	
2009年 (H21)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オバマ米大統領就任(1月)</li> <li>・中国(四川省)大地震(5月)</li> <li>・米GM経営破綻(6月)北朝鮮、ミサイルを発射(4月・7月)</li> <li>・米証券リーマンブラザーズ破綻(9月)</li> <li>・ドバイ・ショック(11月)</li> <li>・米連邦公開市場委員会(FOMC)が米長期国債購入(量的緩和の第1弾=QE1)を発表</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定額給付金支給開始(3月)</li> <li>・裁判員制度スタート(5月)</li> <li>・新型インフルエンザが流行(5月)</li> <li>・衆院選で民主党が圧勝(8月)</li> <li>・政府が緊急雇用対策をまとめる(10月)</li> <li>・円高が進行、政府・日本銀行が「デフレ」宣言(11月)</li> <li>・東京・日比谷公園に「年越し派遣村」開設(12月)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・吉村美栄子知事誕生、女性知事は東北初(1月)</li> <li>・「おくりびと」が米アカデミー賞を受賞(2月)</li> <li>・子ども政策室を設置(4月)</li> <li>・新アンテナショップ「おいしい山形プラザ」が東京・銀座でオープン(4月)</li> <li>・荘内銀行と北都銀行が経営統合(10月)</li> <li>・「山形みんなで子育て応援団」開始(10月)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「いきいき健康つるおおか21保険行動計画」を策定(2月)</li> <li>・鶴岡西部児童館が開館(4月)</li> <li>・月山水道企業団が解散、鶴岡市水道事業と統合(4月)</li> <li>・丑歳御縁年を記念し羽黒山で「山楽祭」を開催(8月)</li> <li>・庄内映画村がオープン(9月)</li> <li>・「鶴岡まちづくり塾」発足(10月)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・庄内映画村オープンセットオープン(11月)</li> </ul>

	世界	日本	山形県	鶴岡市	備考
2010年 (H22)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中国が日本のGDPを抜き世界2位に経済大国に(1月)</li> <li>・中国と東南アジア諸国連合(ASEAN)の自由貿易協定(FTA)が発効</li> <li>・メキシコ湾油井事故(4月)</li> <li>・ギリシャ政府がEUなどに金融支援を要請(ギリシャ危機)(4月)</li> <li>・上海万博(5~10月)</li> <li>・チリ落盤事故(8月)</li> <li>・米連邦準備理事会(FRB)、量的緩和の第2弾(QE2)を発表(11月)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本航空会社更生法適用、過去最大の破綻(1月)</li> <li>・宮崎県で家畜伝染病「口蹄疫」発生(4月)</li> <li>・小惑星探査機「はやぶさ」が帰還(6月)</li> <li>・高速道路無料化社会実験がスタート(6月)</li> <li>・日銀、「包括緩和」ゼロ金利政策復活(10月)</li> <li>・東北新幹線が全線開通(12月)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・山形県緊急雇用対策本部会議で「山形県雇用安心プロジェクト」策定(2月)</li> <li>・第3次山形県総合発展計画を策定(3月)</li> <li>・産学官連携有機エレクトロニクス事業化推進センター設置(7月)</li> <li>・酒田港が重点港湾に選定(8月)</li> <li>・つや姫、市場に本格デビュー(10月)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鶴岡市防犯協会が設立(2月)</li> <li>・鶴岡市総合福祉支援センター「にこふる」が開所(4月)</li> <li>・藤沢周平記念館が開館(4月)</li> <li>・休日夜間診療所で平日夜間診療が開始(10月)</li> <li>・山形大学農学部地域産学官連携協議会が発足(10月)</li> <li>・ユネスコ創造都市ネットワーク加盟を目指し「食文化都市推進シンポジウム」開催(11月)</li> </ul>	
2011年 (H23)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・チュニジアでジャスミン革命(1月)</li> <li>・ニュージーランドで大地震M6.3(2月)</li> <li>・タイで大規模な洪水発生(9月)</li> <li>・北朝鮮の最高指導者、金正日が死去(12月)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東日本大震災・福島第一原発原子炉建屋で爆発事故(3月)</li> <li>・東京スカイツリー完成(5月)</li> <li>・テレビ放送が地デジに完全移行(7月)</li> <li>・なでしこジャパンワールドカップ優勝(7月)</li> <li>・政府、日銀が為替介入と金融緩和を実施(8月)</li> <li>・民主党 野田内閣発足(9月)</li> <li>・皆既月食(12月)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5年ぶりに豪雪対策連絡会議を設置(1月)</li> <li>・献血運動推進全国大会開催(7月)</li> <li>・東日本大震災に伴う県内への避難者が1万人を突破(8月)</li> <li>・中国黒龍江省に「山形県ハルビン事務所」が開所(10月)</li> <li>・国土交通省が「日本海側拠点港」のリサイクル貨物機能として、酒田港を選定(11月)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市消防本部・消防署新庁舎を開署(3月)</li> <li>・西郷地区農林活性化センター開所(6月)</li> <li>・市先端研究産業支援センター拡張整備完了(8月)</li> <li>・くしびき安心カード事業開始(9月)</li> <li>・結婚活動を支援する「つるおか婚活支援ネットワーク」を立ち上げ(11月)</li> <li>・市役所本所市民課に、窓口番号案内システムを設置(12月)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・羽黒中学校改築工事着工(1月~)</li> <li>・除雪パートナーズ支援事業で、除雪機4台配備</li> </ul>

	世界	日本	山形県	鶴岡市	備考
2012年 (H24)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北朝鮮 金正恩氏が北朝鮮トップに就任(4月)</li> <li>・金環日食(5月)</li> <li>・ロンドンオリンピック(7月～8月)</li> <li>・中国共産党が習近平氏を総書記に選出(11月)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・AIJ投資顧問の年金資産消失が判明(2月)</li> <li>・東電実質国有化の事業計画認定(5月)</li> <li>・東京スカイツリー開業(5月)</li> <li>・金環日食(5月)</li> <li>・社会・税一体改革関連法成立(8月)</li> <li>・尖閣諸島国有化で日中関係悪化(9月)</li> <li>・衆院選で自民圧勝、政権復帰(12月)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本海東北自動車道あつみ温泉(IC)ー鶴岡(JCT)間開通(3月)</li> <li>・「縄文の女神」が国宝指定正式に決定(9月)</li> <li>・ドクターヘリ運用開始(11月)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・加茂水族館が世界ギネス記録に認定(3月)</li> <li>・国道112号鶴岡北改良が供用開始(3月)</li> <li>・大山地区に自然学習交流館「ほとりあ」が開館(4月)</li> <li>・鶴岡食文化産業創造センターが発足(7月)</li> <li>・つるおかオーガニックフェスタ開催(9月)</li> <li>・下本郷橋完成(10月)</li> <li>・「シルクガールズコレクション2012」開催(11月)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・羽黒中学校改築工事竣工(2月)</li> </ul>

# 未来10年の主な社会・経済出来事

	社 会	山 形 県	備 考
2013年 (H25)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国内の総合型スーパーが、地方の中型店役30店を閉店する</li> <li>・地方色ゆたかな食品ブランドの確立を目指す「地理的表示の保護制度」が国会に提出される</li> <li>・東京都杉並区と静岡県南伊豆町が、中高年層の移住に関する協定をむすぶ(高齢者の地方移住)</li> <li>・転職などを容易にする仕組みとして、転職者がそれまで加入していた企業年金制度において積み立てた年金原資を転職先の年金制度に移管できるようになる「企業年金のポータブル化」が進行する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・用地決定が難航した山形市(を含む2市2町)の新ごみ焼却場が稼働する</li> <li>・消防広域化に取り組む山形県が、この年までに15の消防本部を5つに再編する(3月)</li> <li>・中心市街地活性化に取り組む山形市が、この年までに中心街の観光入り込み数40万人を達成する(2007年比で6割増)</li> <li>・山形大学工学部が有機EL技術の実用化を産官学で研究する「有機エレクトロニクスイノベーションセンター」がオープンする(4月)</li> <li>・山形県のJR酒田駅前に10階建てのホテルを含む複合商業施設が完成する(12月)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日沿道都市計画決定</li> <li>・県知事選挙(無投票)(1月)</li> <li>・授産施設「さくらが丘」建設</li> <li>・庄内映画村で映画「おしん」撮影開始(2月)・全国上映(10月)</li> <li>・参議院議員選挙(7月)</li> <li>・市長・市議会議員選挙(10月)</li> <li>・御縁年祭(羽黒山)</li> <li>・ゆぽか入館者数500万人突破</li> </ul>
2014年 (H26)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型路面電車(LRT)に生まれ変わったJR富山港線が、富山市中心部を走る富山地方鉄道に接続。市の南北が路面電車で結ばれる</li> <li>・関西電力による医学生を対象とした奨学金制度が終了。原発が数多く立地する福井県嶺南地方の医師不足が解消する</li> <li>・国民新党の政権公約が実現し、この年までの5年間で10兆円の地方交付税と18.5兆円のいきいき地方復活交付金による地方再生施策が実施される</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・山形市ほか4市町の新しいごみ焼却施設(上山市)の稼働が、この年以降にずれ込む(地元住民の反対による遅延)</li> <li>・婚活支援に取り組む山形県の合計特殊出生率が1.50に回復する(2010年は1.40で前年比0.01増。全国平均は1.39)</li> <li>・山形市で国際青年会議所のアジア太平洋会議(ASPAC)が開催される(6月。20カ国約1万人が参加)</li> <li>・山形県酒田市十里塚地区で同市の風力発電施設(最大出力2300キロワット)3基が稼働する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化会館改築の為に閉館(1月)</li> <li>・冬季国体開催(2月)</li> <li>・新加茂水族館オープン(4月)</li> <li>・新島友好盟約30周年(10月)</li> <li>・酒田中央JCT供用開始</li> </ul>



	社 会	山 形 県	備 考
2015年 (H27)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消費税10%のかわいなく、国と地方の借金が896兆円に達する</li> <li>・中部経済連合会が提唱する道州制への移行が期限を迎え、地方行政の広域化の議論が盛んになる</li> <li>・毎年3万人を超える自殺者の数が、国と地方の取り組みにより年間2万5000人に減少する</li> <li>・地方自治体や国立大が、政府の改革と並行して資産の圧縮を実施。保有する土地建物を処分する</li> <li>・消費税率を15%に引き上げ、所得税の70%を地方に移譲する中部経済連合会の道州制が実現する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全市町村でごみ処理を有料化する山形県が、ごみ排出量全国最少県になる(県民1人あたりの一般ごみ排出量は1日780ミリグラム)</li> <li>・山形県の総人口が114万5000人に減少し、少子高齢化が進む</li> <li>・都市部の団塊世代が相続した不動産を処分し、この年までに、山形、秋田、長崎にある個人金融資産のおよそ2割が流出する</li> <li>・中国向けコメ輸出で国の「日本海側拠点港」を目指す山形県酒田港が、週1便の直行国際航路を開設。年間コンテナ取扱量を約1.5倍に拡大する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区公民館が地域活動センターへ移行(4月～)</li> <li>・県議会議員選挙</li> <li>・市町村合併10周年</li> </ul>
2016年 (H28)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地方公務員の数が2006年からこの年までの10年間で20%(約61.6万人)純減する</li> <li>・地方交付税改革により国と地方の収比が4対6になる</li> <li>・基礎自治体(市町村)優先の地方分権(道州制)を体現する「九州府」が実現する</li> <li>・国と地方の公的債務残高が名目国内総生産(GDP)の277%に達する(269%に達した1946年の英国を超える先進国史上最悪を記録)</li> <li>・国と地方の借金が、この年1000兆円を突破する(2016年度)</li> <li>・悪質なハッカーの攻撃から個人や集団のプライバシーや機密が保護されるような信頼度の高いネットワークシステムができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・山形県が「県エネルギー戦略(仮称)」を見直す(2016年度。国の電源計画、新制度に対応するため)</li> <li>・山形県初の併設型中高一貫校「県立東根中高一貫校」(仮称)が開校する</li> <li>・山形県が「全国豊かな海づくり大会」を招致する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校適正配置により小学校の統合校が開校(4月～)</li> <li>・新文化会館開館</li> <li>・衆議院議員選挙(12月)</li> <li>・羽黒新庁舎開所</li> <li>・遊佐IC、象潟IC開通</li> </ul>

	社 会	山 形 県	備 考
2017年 (H29)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ロシアの沿海地方(ナホトカ市)にロスネフチ社の石油化学コンビナートが完成する(ハイテクポリマー、プラスチックを生産)</li> <li>・国内の商社がロシアの沿海地方で栽培したソバ1万トンを入力する(国内需要の1割弱。ロシア極東での農業経営は日本企業初)</li> <li>・この年までに仏スーパー大手がロシアの大型店舗を約3倍(150店)に拡大する(シベリアなどの地方都市を開拓)</li> <li>・10Gbps光加入者系システムが家庭で一般化される</li> <li>・廃車のごみ問題をほぼ完全に解決する自動車のリサイクル技術ができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・山形県が西洋ナシの新品種「メロウリッチ」の栽培面積を50ヘクタールに拡大する(苗木の供給開始は2009年)</li> <li>・山形広域環境事務組合が市漆山、上山市裏町の2カ所で新しい清掃工場を稼働する</li> <li>・山形県の再生可能エネルギー導入量が100万4000キロワットに達する(現状比で約13.6倍。発電87万7000キロ、熱換算12万7000キロ)</li> <li>・壊れてから修繕してきた社会資本の管理を予防保全型に転換する「やまがた県土未来図」が、山形県に持続可能な社会を実現する</li> </ul>	
2018年 (H30)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東南アジア諸国連合(ASEAN)の自由貿易(AFTA)に属するベトナムの自動車輸入関税が撤廃される</li> <li>・沿線地方を対象とするJR東日本の子育て支援施設が60カ所に拡大する(4月)</li> <li>・新石垣空港予定地のカラ・カルスト地方から、このころ絶滅危惧種のコウモリ3種が消滅する</li> <li>・地震発生確率の長期評価手法の確立に基づく、地震リスクマネジメントの一般化される</li> <li>・院内感染を克服する予防技術が実用化される</li> <li>・ほとんどの室内照明が半導体光源に置き換わる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東北中央自動車道の南陽高畠—山形上山間(24キロ)が完成する</li> <li>・「花き振興計画」を進める山形県庄内町が、花き生産額を約10億200万円に拡大する(現状は約4億円)</li> <li>・山形大学のリチウムイオン電池技術が、この年までに170億円の経済波及効果を産む</li> <li>・「県エネルギー戦略(仮称)」に取り組む山形県が、この年までに再生可能エネルギー、代替エネルギー101.5万キロワットを創出する(約原発1基分。現状は7.4万キロワット)</li> <li>・山形県の人口が97万9000人になり、100万人を割り込む</li> </ul>	

	社 会	山 形 県	備 考
2019年 (H31)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者、子供、女性を見守り、不審者を発見する 地域住民通信ネットワークによる住民サービスが実用化する</li> <li>・信頼性の高い水害、土砂災害予測情報が提供できるような精度の良い降雨予測技術が実用化される</li> <li>・そううつ病の原因の分子レベルでの解明される</li> <li>・大規模災害発生時に、衛星からの画像、レーザレーダ装置による解析等を用い広域にわたり災害状況を監視し、迅速で安全な避難誘導が可能となる広域災害状況監視システムができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・山形県で80年代に大量採用された教職員が退職期を迎え、退職者の数が2007年問題を上回る600人から700人の水準に達する</li> <li>・奥羽新幹線開業。東京に出るのが簡単になる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・庄内映画村10周年</li> </ul>
2020年 (H32)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広東省鉄路建設投資集団有限公司(2005年発足)が2164キロの鉄道と都市間線路の敷設を達成。中国最大の地方鉄道投資会社となる</li> <li>・つくばエクスプレス(2005年8月開業)の沿線開発が、この年までに1兆4231億円の経済波及効果による8万8531人の雇用誘発と地方税の税収1086億円をもたらす</li> <li>・地方電化計画(第2期)を進めるガーナ政府が、同国の500人以上の集落すべてに電力を安定供給する(日本が資金援助)</li> </ul> <p>広域地方計画の九州ブロックが、このころまで東アジアの経済成長に連動しながら発展を続ける</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地球温暖化対策に取り組む山形県が、この年までに二酸化炭素(CO2)排出量を20%削減する(1990年比)</li> <li>・地球温暖化対策に取り組む山形県が、この年までに65.2万キロワットの再生可能エネルギーを導入する(現状は7.2万キロワット)</li> <li>・循環型社会の実現を目指す山形県が、この年までに1人あたりのごみ排出量を1日820グラムに削減する(現状は909グラム)</li> <li>・再生可能エネルギーの導入を進める山形県の雪氷熱エネルギーが1000キロワットに達する(現状比で約20倍)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・藤沢周平記念館開館10周年(4月)</li> <li>・第30回 赤川花火大会</li> <li>・第20回 羽黒石段マラソン</li> </ul>

	社 会	山 形 県	備 考
2021年 (H33)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・この年までの米国の歳出抑制が、州、政府の経済成長を圧迫し続ける</li> <li>・過疎地域自立促進特別措置法(過疎法)が、この年まで単純延長される(2016年3月末期限を5年延長)</li> <li>・北海道、阿女鱒岳の国有林で地熱発電所が運転を開始する(阿女鱒=あめます)</li> <li>・全ての陸上・海上交通機関における、現行自動車排出ガス規制値をクリアする排気対策技術(現行のガソリン・乗用車の規制値(g/km)は一酸化炭素1.27(0.67)、炭化水素0.17(0.08)、窒素酸化物0.17(0.08)。試験モードは10・15Mで、数値は1台当たりの上限值、カッコ内は形式当たりの平均値)ができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・山形県の後期老年人口(75歳以上)が23.3%に拡大する</li> <li>・風力発電、メガソーラーなどを積極導入した山形県が、この年までに電力の供給基地に生まれ変わる(エネルギーの他県依存からの脱却)</li> </ul>	
2022年 (H34)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医師の数が需要数を満たし、拠点病院から地方への医師派遣の取り組みが始まる</li> <li>・統合失調症の原因の分子レベルでの解明される</li> <li>・火山噴火に至る火山体内部のマグマの状態の推移をリアルタイムに観測・評価し、噴火の時期、規模を予測する技術ができる</li> <li>・地域農林業資源・有機性廃棄物などのバイオマスエネルギーを利用する、ゼロエミッションを指向した低コスト農林業・農村が実現する</li> <li>・海洋汚染の世界的規模のモニタリングシステムができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・山形県内の全市町村で人口が減少する</li> <li>・山形県の人口に占める65歳以上の割合が36.3%に達する(全国は33.7%)</li> </ul>	

平成25年2月現在

(1)観光資源の情報発信と観光客の受け入れ体制の充実

実施項目		進行状況				説明
		達成済	推進中	検討中	未実施	
①観光資源の情報発信と観光客の受け入れ体制の充実	1	羽黒町観光協会といでは文化記念館の体制強化		○		観光商工室がいででは文化記念館へ移動した。 (羽黒町観光協会の体制強化が成されたら達成)
	2	松ヶ岡開墾場 大蚕室の保存補修事業の推進		○		年次計画的な保存修理を実施している。(H25)4番蚕室完了、(H26)3番蚕室を着手を予定している。
	3	松ヶ岡開墾場の学習・拠点施設の整備			○	歴史的風致維持向上計画の策定を行っている。また、「松ヶ岡地域振興会議」による拠点整備及び周辺環境整備の検討を行うこととしている。
	4	松ヶ岡開墾場周辺の環境整備			○	
	5	観光案内所を明確にし、言葉で案内できる体制や羽黒地域の観光地と食事所等を掲載した案内板を整備		○		観光商工室がいででは文化記念館へ移動した。「鶴岡市見どころ案内所」看板を道路沿いの目に付きやすい場所に設置した。
	6	月山ビジターセンター付近の観光情報を発信するための観光案内所及び案内板の設置			○	羽黒山バイパス完成に合わせ、観光情報発信を検討する。ビジターセンターのリニューアルにより情報発信を行う。
	7	古くなった観光看板の更新		○		既存看板の現況把握により整備計画を策定する。H24に三ツ橋・狩谷間の鳥居モニュメントを更新した。
	8	観光客の動向や観光ルートに合わせた、新たな案内板の整備、既存案内板の整理統合及び表示内容の変更			○	既存看板の現況把握により整備計画を策定する。
	9	観光関係者を対象とした、ホームページの作成・操作方法、口コミ対応などについての、行政主体の講習会の開催				○
②新たな観光資源や観光メニューの開発と商品化の推進	10	グリーツーリズムに関する取組みのレベルアップと受け入れ体制の再構築			○ ←	H23より地域でネットワーク会議を開催し実践者や受入者の方々の情報交換をしている。今後とも継続し取組んでいく。
	11	ゆったりと体験できる観光メニューの整備(宿泊場所から徒歩や自転車での移動など)				○

実施項目		進行状況				説明	
		達成済	推進中	検討中	未実施		
②新たな観光資源や観光メニューの開発と商品化の推進	12	羽黒地域全体で観光に関わっていく方策の検討と実施				○	
	13	羽黒地域の資源を活かした観光メニューの整備			○		蚕の飼育体験や糸とり体験等による観光メニュー化を検討。
	14	羽黒地域の資源を活かした観光ルートの整備		○			各観光施設を線で結ぶ取組みとして案内看板の設置や「食のスタンプラリー」を実施している。
③より多くの観光客を受け入れる体制の整備	15	より多くの観光客の受け入れと、地域経済を活性化する仕組みの整備と担い手の育成			○		県事業「食・映画・景観活用地域活性化モデル事業」との調整をはかり施策を検討中である。
	16	食事处やお土産、産物等を積極的に紹介するなど、経済効果をあげるような施策の推進		○			「食のスタンプラリー」を実施している。
	17	祭りやイベントのPRIに合わせた宿泊情報の随時発信			○		宿坊の実態調査を行い、最新情報の発信を計画している。
	18	現役の若い世代が集まり、宿坊を活用した観光メニューについて話し合う機会の創出		○			食に関しては、H24「出羽三山精進料理プロジェクト」が始動した。
	19	オフシーズンのイベント開催やグリーンツーリズムでの宿泊分離等、年間を通した様々な取組みの実施				○	
	20	松ヶ岡開墾場からの、鶴岡シルクに関する情報発信や関連事業の実施		○			蚕の飼育体験、シルクガールズ・コレクションを開催した。
	21	「ゆぽか」のサービス向上のため、競争力強化に向けた取組みの実施		○			ゆぽかの利用拡大を目的として、「ゆぽか健康講座」を開催している。
④地域全体で「もてなしの気持ち」の醸成	22	専門的な観光ガイドの養成			○		「いでは観光ガイド」「月山観光ガイド」の中で研修及び要請についての検討を行っている。
	23	接客業の心得等を学ぶ研修会の開催		○			観光連盟等の接客研修会には、協会員に開催の情報提供をしている。
	24	羽黒地域の歴史や文化、観光案内等のテキスト作成・配布		○			まちづくり塾で観光ガイドブック「はちこの皇子物語り」を作成中である。

実施項目			進行状況				説明
			達成済	推進中	検討中	未実施	
④地域全体で「もてなしの気持ち」の醸成	25	羽黒地域の歴史や文化、観光案内等の講習会の開催		○			H24から歴史講座を実施している。⇒H18から歴史講座を実施している。(H18に訂正)
	26	外国語を話せる観光ガイドの養成			○		地元在住の外国人への要請を行っている。
	27	観光地として、訪れる人にとってわかりやすい案内板の整備と道路整備		○			(H23)誘導看板1基(H24)野立て看板1基を設置した。一方、羽黒山バイパスは整備中である。

## (2) 観光資源の情報発信と観光客の受け入れ体制の充実

実施項目			進行状況				説明
			達成済	推進中	検討中	未実施	
①月山公園線の拡幅整備の促進	28	月山公園線拡幅整備に関する課題の検討・調整、国や県に対する要望活動の強化		○			期成同盟会と観光協会の連名で県に要望を行った。
②羽黒山バイパスの早期完成	29	羽黒山バイパスの早期完成		○			年次計画的に整備が行われている。また、期成同盟会・観光協会・庄内町町長等の連名で県に要望を行った。
	30	工事の進捗状況の随時公表			○		期成同盟会や観光協会の総会等で報告を行っている。その他の公表方法については検討中である。
③松ヶ岡・櫛引間の観光アクセス道路整備	31	松ヶ岡開墾場と櫛引の春日神社や王祇会館をつなぐ道路整備で、大阪山と成沢道路間の未完成部分の整備				○	県道との交差協議が進まず中断している。
③松ヶ岡・櫛引間の観光アクセス道路整備	32	櫛引方面から松ヶ岡等へ、わかりやすく観光客を誘導する道路や道路標識、案内板の整備				○	全線開通に合わせ設置を予定している。
④庄内映画村オープンセットへのアクセス道路整備	33	庄内映画村オープンセットへのアクセス道路の全線拡幅				○	待避所5箇所を設置している。
	34	案内看板等のサインの整備		○			H23誘導看板1基を設置、H24誘導看板1基の修繕と野立て看板1基を設置している。
⑤庄内映画村オープンセットと国道112号線をつなぐ観光道路の検討	35	庄内映画村オープンセットと国道112番地をつなぎ本市の中山間地を結ぶ山岳道路の整備				○	水芭蕉の丘広域農道整備事業は一部分の整備で中断した。

## (3) 観光資源の情報発信と観光客の受け入れ体制の充実

NO.4

実施項目		進行状況				説明
		達成済	推進中	検討中	未実施	
①宿坊街の無電柱化や修景による景観整備	36	宿坊街の無電柱化の推進			○	
	37	宿坊街の景観を阻害するシャッターや車庫の修景、各種看板の整理等、沿道の景観整備			○	
②手向地区の歴史的風致のPRと保全整備	38	歴史的建造物や趣ある街並みなどの観光資源を活用した振興策の検討とその保全整備			○	鶴岡市歴史的風致維持向上計画の策定を通して実施を計画している。
	39	秋の峰に入峰する山伏隊列や花祭りの柱連飾り、講中で訪れる白装束の道者を山伏が先達するといった手向地区特有の歴史的風致のPRと、観光誘客の促進			○	
	40	出羽三山の山岳信仰と宿坊の講中システムの時代にあった方策の検討			○	
③松ヶ岡開墾場の歴史的風致のPRと保存	41	松ヶ岡開墾場大蚕室の保存補修事業の推進		○		年次計画的な保存修理が実施されている。
	42	松ヶ岡開墾場の魅力を高めるための、学習・情報発信拠点施設の整備			○	歴史的風致維持向上計画の策定を行っている。また、「松ヶ岡地域振興会議」による拠点整備及び周辺環境整備の検討を行うこととしている。
	43	松ヶ岡開墾場の魅力を高めるための、松ヶ岡開墾場の環境整備			○	

## (4) 観光資源の情報発信と観光客の受け入れ体制の充実

実施項目		進行状況				説明
		達成済	推進中	検討中	未実施	
①庄内映画村オープンセットを組み入れた観光ルートの整備	44	庄内映画村オープンセットと既存の観光施設をつなぐ広域の観光周遊ルートの整備		○		県事業「食・映画・景観活用地域活性化モデル事業」と調整をはかり、観光ルートの整備を計画する。「食のスタンプラリー」を実施している。
	45	月山高原を舞台として、庄内映画村オープンセットと月山高原牧場・ひまわり畑等を組み合わせた観光メニューや案内板の整備		○		県事業「食・映画・景観活用地域活性化モデル事業」と調整をはかり、観光ルートの整備を計画する。「食のスタンプラリー」を実施している。月山公園線から叶宮橋への交差点に野立て看板を設置している。



実施項目		進行状況				説明
		達成済	推進中	検討中	未実施	
①庄内映画村オープンセットを組み入れた観光ルートの整備	46	出羽三山や庄内映画村オープンセットを訪れる観光客を、お互いに取り込めるような施策の実施		○		県事業「食・映画・景観活用地域活性化モデル事業」と調整をはかり、観光ルートの整備を計画する。「食のスタンプラリー」を実施している。
②庄内映画村等の映画撮影、誘致への支援	47	映画撮影や誘致への支援		○		「映画ロケ支援事業」としてH22から実施している。

## (5)多様化するニーズ対応する観光周遊ルートの整備

実施項目		進行状況				説明
		達成済	推進中	検討中	未実施	
①新たな観光ルートの整備	48	既存の観光施設とイベント等を組み合わせた周遊ルートや観光メニューなど、経済効果をもたらす市の施策について、県も巻き込んでの整備		○		県事業「食・映画・景観活用地域活性化モデル事業」との調整をはかり、観光ルートの整備を計画する。「食のスタンプラリー」を実施している。
	49	観光地を線で結び広く地域が連携した観光振興の推進		○		
②テーマ別観光ルートの整備	50	「見たい・知りたい・歩いてみたい」と思うようなテーマ別の観光コースや体験メニューの準備と提供			○	
	51	健康志向を意識した、小道や裏道で地元の人と交流ができるような、歩いて楽しい観光ルートの整備			○	
	52	八重桜の名所である蝦夷館公園を、季節を通して楽しめるような花壇や散策路の整備と、遊具の更新			○	H23遊具は更新した。
③他地域との連携による情報発信	53	癒しやアートをテーマにして、松ヶ岡・今井繁三郎美術館収蔵館・玉川寺など、南部農道を通る観光ルートの整備と情報発信			○	
	54	出羽三山を訪れる旅行者(特に月山)に対して、月山を取り巻く地域の行政や観光協会等が連携したわかりやすい情報の発信		○ ←		ビジターセンターのインフォメーションコーナーが充実され広域連携による情報発信を行う計画。
	55	月山を取り巻く市町村の行政域を超えた観光振興に関して、民間団体が行政に代わって取り組む場合の財政的支援			○	月山を取り巻く1市2町2村の首長が集い「月山サミット」が開催された。

実施項目		進行状況				説明
		達成済	推進中	検討中	未実施	
③他地域との連携による情報発信	56	他地域と連携し、外国人観光客のニーズに対応した情報発信やルート整備			○	インバウンドの誘客推進の取組みを検討中である。

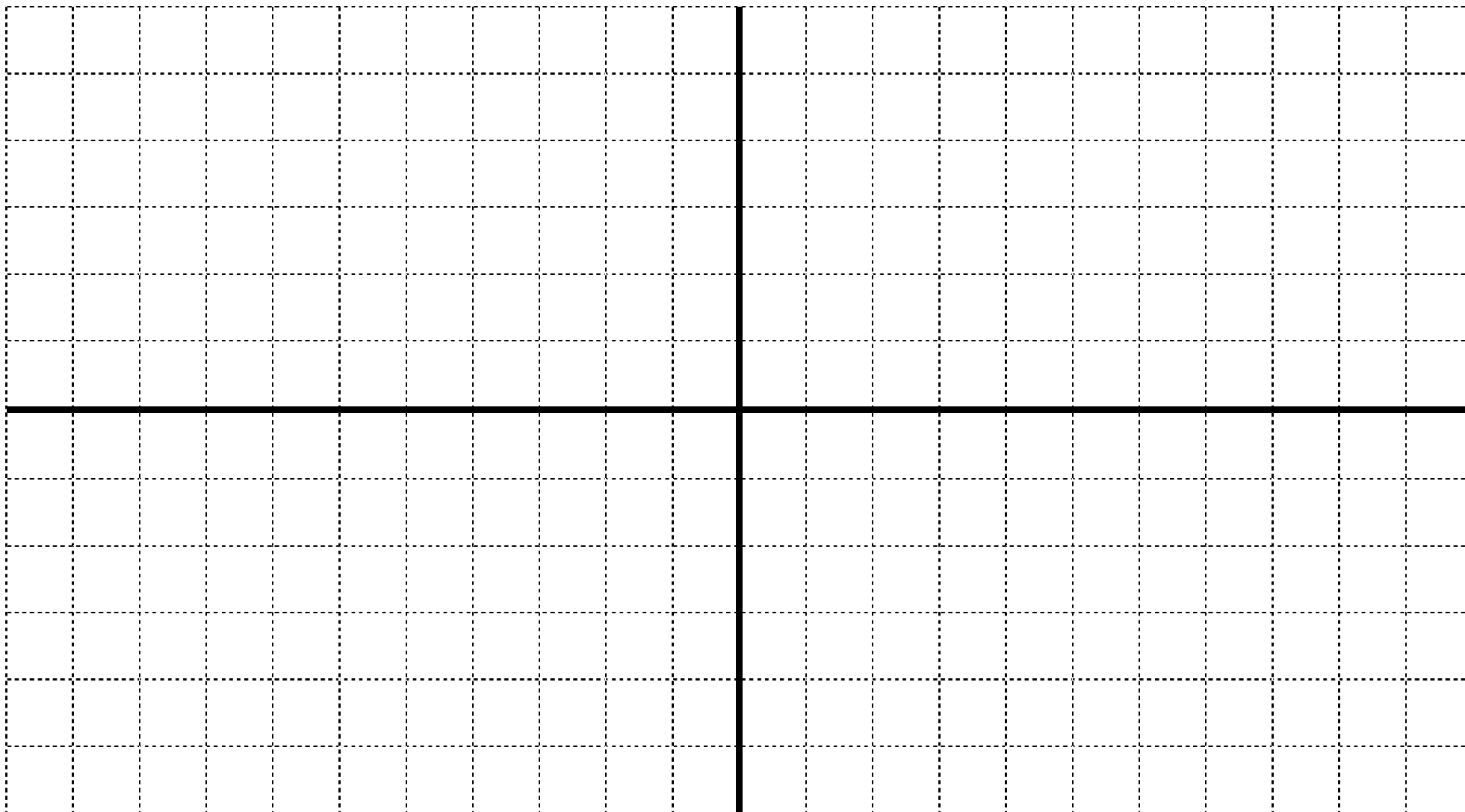
羽黒地域審議会提言書「観光地羽黒の更なるステップアップを目指して」のマッピング

グループ

重要度：高

緊急度：低

緊急度：高



重要度：低

## 今日の進め方について

### 〇はじめに(本日の会議の目的)

前回の提言書を深堀し、「市民協働で進める羽黒の観光」というテーマに基づいて次の提言をまとめていきます。

提言をまとめる作業スケジュールは資料3のとおりです。

協働で進めるという考えにたち、委員の皆さん、行政の職員も一緒になって話し合いをしながら考えを共有してゆく作業を行います。

今日は、そうした話し合いを円滑に進めるために席配置をしています。

今回の話し合いのゴールは、前回提言書の重要度、緊急度をグループで話し合い、ランク付けを行うことにあります。

そのため、その前提として将来の地域像をグループでイメージを共有するための話し合いを行います。また、将来の地域像をグループで描くにあたり、過去の出来事から将来を見据えることとし、まず、過去十年の出来事から話し合いを行っていきます。話し合いの方法・ルールは、文部科学省熟議カケアイ、ブレインストーミング法を参考とします。

この話し合いで出される意見や描く将来像、位置付けについては、基本的な間違いということはありません。そのため、今日は、全員が考えを自由に発言する「ゲーム」と思って参加してください。飲み物も自由です。

### 〇進め方

最初に役割を決めます。

役割は次のとおりで、全員が一つずつあたるようになります。

司会①、司会②、タイムキーパー(時間計測係)、発表者①、発表者②

ただし、司会①については、時間の都合上こちらからあらかじめ指名をさせていただきます。その他の方はクジで決めます。

## ○役割の内容

### 司会①②

全員が発言できるようタイムキーパーと協力し、グループの話し合いを進行します。①、②はテーマ①、テーマ②を担当してください。

### タイムキーパー（時間計測係）

司会に協力し、全員が発言し、かつ時間内に話し合いが終了できるよう時間の計測をします。

### 記録係

それぞれの発言を記録して発表者の発表に協力します。

### 発表者①②

グループでの話し合いの結果を発表します。

①、②はテーマ①、テーマ②を担当してください。

## ○話し合いの進め方、ルール

### テーマ①について（これまでの10年とこれからの10年）

まず、全員が時間（2～3）でテーマにそって「付箋」に考えをできるだけたくさん書き出します。時間になったら司会は全員が発言できるよう順番に指名します。指名された人は、付箋を模造紙の該当する部分に貼り出しながら、簡単に理由を説明します。

他の人で同じような意見や関連する意見がある場合は、その時点で発言をします。司会は関連意見のある人に発言をさせてください。関連意見がでなければ、次の人を指名し、これを繰り返していきます。

この際、発言を簡潔にすること、時間を守ること、他者の発言について反対や批判をしないことがグループワークのルールになりますので留意してください。また、過去、未来を話しあう材料、ヒントとして資料4、資料5を配布していますのでご参考ください。

話し合いが終了しましたら、各グループの発表者から過去、未来について3分程度で話し合いの内容（主な意見、興味深い意見など）の発表をお願いします。

### テーマ②について（前回提言書の重要度、緊急度のマッピング）

各グループに前回提言書の内容14項目を配布しています。これについてテーマ①での話し合いで得られた将来像を手がかりに、模造紙に重要度、緊急度を位置づけ（マッピング）します。

司会は全員に項目を配布し、司会から順次、一つずつ項目を読み上げながら、重要度、緊急度を検討し模造紙に仮置きします。その際、どうしてその位置なのかを簡単に説明します。その後、全員で位置付けについて次の項目、前の項目との比較をしながら位置の修正や見直しをします。最終的に14項目の位置付けについて全員の意見がまとまれば、模造紙に糊付けして完成です。

最後に各グループの発表者から話し合いの内容（主な意見、興味深い意見など）の発表をお願いします。